

# 島根大学附属図書館 年報 2015

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY Annual Report 2015

## 進化する大学図書館

一昔前、と言ってもそれ程過去のことではないが、島根大学の図書館に本を借りに行っても、殆どの時期には学生の姿が少なく、定期試験の直前だけ館内がごった返していたように記憶している。この点は中国の大学図書館は違って、友人の研究者に図書館を案内してもらおうと、いつも学生で溢れ返っていた。中には階段近くに椅子を移動して、熱心に語学の勉強をしている学生もたくさん見かけた。当時は中国の学生寮の1室には数名が同居していたから、勉強する空間も狭隘であるのに対して、島根大学の学生のアパートは一人で勉強するには十分な広さなのかと私は考えていた。

しかし、これは以前の話で、最近の中国の目覚ましい発展は大学図書館にも及んでいる。昨年末、中国全土でも茶の産地として有名な福建省の漳州市にある閩南師範大学を訪れた。福建省は台湾の向かいに位置し、閩語という方言を話す方が多い土地柄である。出雲弁を耳にすることが多い島根県東部とは何か通ずるところがある。この大学は本学の交流協定校の一つである。現在、島根大学附属図書館のホームページには、閩南師範大学図書館のバナーを設けてあるので、ご興味のある方はご覧いただきたい。尚、島根大学附属図書館のホームページは日本語版と英語版以外に中国語版もある。

閩南師範大学図書館を視察したとき、まず驚いたのは、高さが1mぐらいある電光掲示板を使って新着の電子書籍を陳列してあったことだ。その中から一つの電子書籍の画像を指でさわると、その簡単な説明や内容が即座に確認できた。まるで大型看板のようなスマホを触っている感じだった。その機器自体も高そうだったが、それ以上に閲覧できる電子書籍の契約予算が相当なものらしい。昔と変わらず、館内の数か所に配置されている閲覧場所はどれも満員だったが、閲覧席は予約制で、館内はもちろん館外からでも自分のPCやスマホを使って、どの階のどの席をいつから使いたいかを決められるとの説明にも驚かされた。予約されていた座席が何らかの事情で使われていないことが分かると、図書館員がその予約を消すことができるらしい。空いている座席にカバンなどの私物を置いて実際には使わないような不届き者を出さない工夫なのだろう。管理体制が行き届いている感じを受けた。もちろん、本の貸出及び返却システムも機械化されていた。館内には、学生が管理するコーナーも設けられていて、卒業生から寄付された書籍を記録簿に記載すれば、自由に借りることもできるようだった。

一方、我が島根大学附属図書館本館は大型スマホも閲覧席予約システムもないが、最近、改築され相当に明るい雰囲気になり、学生の入館者数は鰻登りに増えている。閲覧席が使い易くなった以外にもラーニング・コモンズやPCルームを自由に活用できるようになったことも1つの理由なのかもしれない。また、少人数で討論するのに適しているグループ学習室や一人で研究する雰囲気を味わえる研究個室に加え、ちょっと勉強に疲れたら休憩できる眺めの良いラウンジなどいろいろな空間が整ってきた。図書館は一人一人が静かに大人しく本を読む場所だという考えはもう古過ぎるのだろう。できるだけ早い時期に出雲キャンパスにある医学図書館も改築計画が立案されてリニューアルされることを期待している。また、益々多くの学生たちが、授業の単位取得のためだけでなく、自己のスキルアップや交流の場として、島根大学附属図書館を有効活用してくれることを願っている。

附属図書館長 杉江実郎





## 島根大学学術情報機構 附属図書館の理念と目標

2013（平成25）年8月2日学術情報機構附属図書館運営会議承認

### 理念

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめて、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

### 目標

#### 1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

#### 2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

#### 3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめて、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

#### 4. 学術コミュニケーションへの貢献

大学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

※2016（平成28）年度から附属図書館は機構から外れ、単独部局となった。

## CONTENTS

TOPICS	4
図書館の動向	
・学術情報基盤整備計画	8
・研究開発室の活動状況	9
・図書館コンシェルジュの活動	10
・社会貢献	11
・本館におけるカビの発生とその対応	12
統計	13
・利用者	14
・貸出	15
・図書	16
・図書館資料費	17
・電子資料	18
・データベース	19
・Webサービス	20
・講習会	21
・相互協力	22
図書館日誌／刊行物	23
資料提供	24
報道／人事異動／研修	25

## ■ 附属図書館報「淞雲」のリニューアル

島根大学附属図書館報である淞雲（しょううん）は、第17号でリニューアルし、装丁はA4判からA5判へ、また内容も論文や報告記事を中心とした構成へ一新した。

リニューアルにあたり、従来から発行している刊行物（淞雲、年報、概要等）について特色と目的を明確化し、それぞれ内容が重複しないことを目指して検討を行った。その結果淞雲は、本学図書館の所蔵資料についての研究や資料紹介のほか、広く図書館に関する論文や業務報告、書評などを掲載する編集方針とした。

また2016（平成28）年2月に発行した第18号からは、縦組み論文

の投稿にも対応し、古典籍等の資料について自然に表現できるようになった。これを受けて同号では、本学貴重資料である出雲風土記抄に関する論文を掲載した。

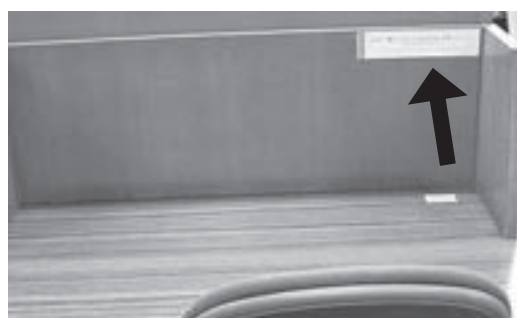
【2015年4月】



## ■ 閲覧机に格言を掲示

医学図書館では2015（平成27）年5月27日（水）～8月6日（木）の間、5台の閲覧机に格言を掲示した。これは海外の大学の例を挙げて、「勉強意欲が湧くような掲示をしてはどうか」という意見が意見箱に寄せられたことに端を発する。この提案を実現するにあたっては掲示物が視野に入るのを嫌う人にも配慮して一人掛け閲覧机5台にのみ期限付きで掲示した。同時に実施したアンケートでは好意的な評価が半数を上回った。利用者の声が反映される図書館として今後も努力していきたい。

【2015年5-8月】



## ■ 電子ブックウォールの設置

本館2階の交流ゾーンの壁面に、電子ブックを紹介するコーナー「電子ブックウォール」を設置した。島根大学で利用できる電子ブックは数千タイトルあるが、そのうち国内で発行された和書はまだ少なく数百タイトルのみである。蔵書検索システム（OPAC）でも検索できるが、利用はあまり伸びていないのが現状である。紙の本と比べ、利用できる絶対量と種類が少ないことに加え、使い勝手も悪いと感じる人が多いようだ。また、図書館という空間の中では、物として存在しない電子ブックは発見可能性が著しく劣り、利用できること自体を知られていないケースも多いと思われる。

電子ブックウォールは、電子ブックの認知度向上と利用促進を目的として設置したものである。1タイトル毎に壁面にカードを並べ、カードには本の表紙画像や書誌情報、裏面には簡単な内容紹介文を記載し

ている。また、電子ブックを即座に利用できるように本文にアクセスするためのQRコードを印字している。

【2015年6月】



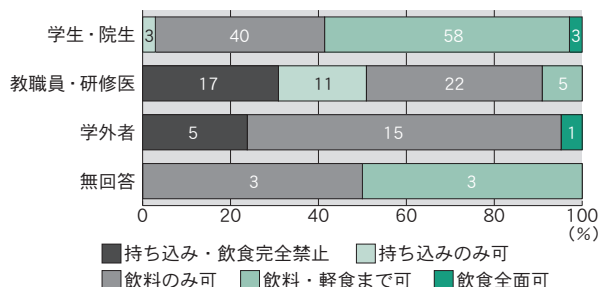
## ■ 館内での飲食に関するアンケート実施

医学図書館では2015（平成27）年6月15日（月）～7月17日（金）の間、館内での飲食に関するアンケートを実施し、193名の回答を得た。アンケートでは、回答者の区分と来館頻度、平均滞在時間を確認し、館内での飲食についてどのようなルールが望ましいと考えるかを調査した。

調査結果より、図書館での飲食をある程度認めてほしいという意見が少なくないことを確認できた。これを受けて検討を行ったが、現状の設備では対応困難として今回のルール改定は見送られた。利用者の希望と館内環境保全とを両立させる対策を引き続き模索する必要がある。

【2015年6-7月】

飲食ルール希望の割合（利用者区分別）





## ■全国遺跡報告総覧の公開とシンポジウム開催

島根大学附属図書館が事務局として推進してきた「全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト」は、そのコンテンツを2015（平成27）年6月25日より国立文化財機構奈良文化財研究所へと移管し、「全国遺跡報告総覧」として公開した。

この事業は、研究者・学生を中心に利用需要は大きいものの、少数発行で入手しにくい発掘調査報告書について、電子化・公開することで更なる利活用をはかることを目的とするものである。コンテンツ移管により、これまでのプロジェクトにおいて道府県ごとのサーバで管理していたものが統合され、全国の発掘調査報告書をまとめて検索することが可能となった。

【2015年6月】



奈良文化財研究所と当館との共催で、全国遺跡報告総覧シンポジウム「文化遺産の記録をすべての人々へ！—発掘調査報告書デジタル化の方向性を探る—」を開催した。自治体文化財担当者を中心に80名の参加があった。

日時 2016（平成28）年2月28日（日）

場所 国立文化財機構奈良文化財研究所

平城宮遺跡資料館 講堂

【2016年2月】



## ■iPadの館内貸出サービスを開始

本館では2015（平成27）年10月より、館内設備や図書館の提供する様々な情報資源を活用した学習に役立ててもらうため、学内構成員向けにタブレット端末iPadの館内貸出サービスを開始した。貸出用として提供する端末は2台で、平日の8:30~17:00にカウンターで借りることができるほか、図書館OPACで貸出状況の確認もできる。グループ学習、インターネット閲覧、情報検索などの用途で半年間（10月~3月）に約30回の利用があった。

【2015年10月】



## ■附属図書館の英語版ホームページ公開

2015（平成27）年10月6日（火）、附属図書館の英語版ホームページを公開した。

附属図書館のホームページはこれまで日本語版のみだったが、日本語による読解を得意としない図書館利用者への案内および情報発信のため、英語版ホームページを作成し、公開した。

内容は、日本語版ホームページから必要な項目を選定し、それぞれを英訳した簡略版となっている。そのため附属図書館の基本情報や利用方法については英語版ホームページに記載があるものの、各データベースの活用方法や講習会の案内等は英訳が追いついておらず、まだ十全な情報を備えているとはいえない。今後も順次英訳を進め、内容を充実させていく。

【2015年10月】



## ■中学生職場体験の受入

本館では2015（平成27）年9月28日（月）～10月2日（金）に、松江市立湖南中学校から職場体験の生徒2名を受け入れた。清掃や図書の配架など様々な業務を体験した生徒たちからは、「コミュニケーションは、あいさつ、返事、対話だと学ぶことができたので、普段の生活から心がけるようにしたい。」との感想が寄せられた。

医学図書館では同年9月1日（火）～9月3日（木）に、出雲市立第二中学校と第三中学校から職場体験の生徒を2名ずつ計4名受け入れた。今年度から新たな試みとして、「図書館利用者に伝えたいこと」をテーマにポスター作製を行ってもらったところ、鋭いところを突いていて感心させられる作品となった。

【2015年9-10月】



## ■蔵書リユース市を開催

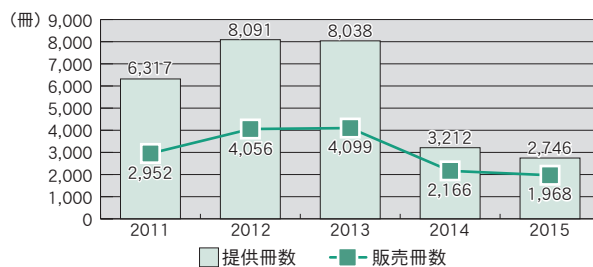
本館で恒例行事となっている蔵書リユース市を、大学生協の協力のもとで開催した。これは図書館で重複等を理由に不用となった図書の再利用を目的として毎年開催しているもので、1日目は本学の学生・教職員、2日目は地域の一般市民も対象として販売した。価格は全て100円で販売したが、提供した2,746冊のうち約7割が売れ、両日とも多くの来場者で賑わった。

日時：2015（平成27）年10月28日（水）～29日（木）

場所：大会会館3階 大集会室

【2015年10月】

蔵書リユース市の提供・販売冊数



## ■国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議を開催

標記会議を当番館及び会場館として開催した。本会議は中国・四国地区の国立10大学の図書館から実務担当者が集まり、共通の課題について協議するために毎年開催されているもので、平成27年度は電子リソースの契約状況や税制改正への対応について各館の報告を交えて協議を行った。

日時：2015（平成27）年12月11日（金）

場所：本館3階 多目的室

【2015年12月】



## ■一般雑誌の人気投票を実施

本館では2015（平成27）年12月14日（月）～2016（平成28）年1月15日（金）に、新聞・雑誌コーナーに置いている文芸、スポーツ、趣味などの一般雑誌の人気投票を実施した。既に購読しているタイトルのほか、新規購読希望があったタイトルも併せて投票対象とした。投票結果から、新規購読希望のタイトルのうち人気が高かったものについては次年度以降の購読を決定し、得票数が少なかったタイトルについては次年度以降の購読を中止した。

【2015年12月-2016年1月】

得票数の多かったタイトル（TOP3）

順位	タイトル	得票数
1位	週刊ベースボール	15
2位	月刊バレーボール	14
3位	ミステリマガジン	6
	暮しの手帖	6
	ダ・ヴィンチ	6
	WORLD SOCCER DIGEST	6

## ■ ミンナン 閩南師範大学を訪問

2015（平成27）年12月20日（日）～25日（金）にかけて、附属図書館長と図書館職員1名を含む島根大学からの訪問団が閩南師範大学（Minnan Normal University）を視察し、現地教職員および学生と意見交換等の交流を行った。閩南師範大学は、中華人民共和国福建省漳州市にあり、16学院からなる総合大学である。本科生と研究生、あわせて21,000人の学生が在籍する。本学は平成26年に学術交流協定を締結しており、留学生の受け入れなどを行っている。

閩南師範大学図書館は5階建ての建物で、総面積は2.4万㎡である。資料については、紙媒体の図書が約230万冊、電子媒体の図書が約300万タイトル、紙媒体の学術雑誌が約5,400タイトル所蔵されている（平成28年6月現在）。購読している電子ジャーナルのタイトル数については判然としない。また、中国語および外国語のデータベースを42種契約しており、閩南師範大学が構築したデータベース8種とあわせて利用者に提供されている。

訪問団は閩南師範大学図書館職員の案内により館内を見学し、日本の図書館と異なる点や、その他疑問点について積極的に質問を行った。また、閩南師範大学図書館館長以下職員との意見交換会においては、

本学附属図書館の紹介を行うとともに、事前に附属図書館職員から募集した質問事項について、閩南師範大学図書館側から回答を得た。数日間の滞在であったが、中華人民共和国の大学図書館の実態を見聞する貴重な機会となった。

【2015年12月】



## ■ キャリアセンターとの共同企画を開催

本館では、本学キャリアセンターとの共同企画として、「就活に役立つ日経テレコン活用セミナー」を開催した。これは、キャリアセンターが主催する「就活セミナー」や「就活合宿」の事前学習となるものである。

日経テレコンは、30年分の新聞・雑誌記事から国内外の企業情報、人物プロフィールなど、幅広いビジネス情報を収録したデータベースである。セミナーでは、日経メディアマーケティングの専任講師から、日経テレコンの操作方法や機能の解説を受けた。特に今回は、就職活動での活用に重点を置き、企業・業績研究の方法などを実践形式で学んだ。

少しでも多くの学生に受講してもらうために、同日に同じ内容で2回実施した結果、1回目は17名、2回目は18名の参加があった。受講した学生からは「これは就活で武器になりそうです。客観的な情報を簡単に検索できるので、早速業界研究に活用します。」などの感想があった。

今後もキャリアセンターと共同してデータベースの活用を促進し、学生の就職活動を支援していきたい。

日時：2016（平成28）年2月17日（水）

〈1回目〉11：00～11：45 〈2回目〉13：30～14：15

場所：本館2階 PCルーム

【2016年2月】



## ■ 戦略的機能強化推進経費等での資料購入

高額であるためなかなか整備が難しかったレファレンスブック（参考図書）等を中心に、学生用図書の重点整備を年度末に行った。これは戦略的機能強化推進経費によるもので、本館と医学図書館あわせて、約400万円分を購入している。

また、本館では、国際交流課（国際交流センター）の支援により、留学生向けの図書や視聴覚資料を、同じく年度末に整備した。整備資料は留学生コーナー及びAVルームに配架している。

【2016年3月】





## ■ 学術情報基盤整備計画

本学では2001（平成13）年度から開始した「学術情報基盤整備計画」により、全学的な観点にたつて複数の専門分野をカバーする外国雑誌を中心とした電子ジャーナル及び文献データベース等の計画的な整備を行ってきた。全学共通経費を主な財源としたこの整備計画は3年ごとに見直しを行い、2015（平成27）年度は「第5期学術情報基盤整備計画（平成25～27年度）」によって、電子ジャーナル約12,000タイトルに加えて、引用文献データベース、アクセス・ツール及び文献管理ソフトを継続して整備した。大学構外からも電子ジャーナル等を利用できる環境の充実を図るとともに、携帯機器を用いた利用の支援など、より一層の利便性向上に努めた。物理系、化学系、医学系など一部の専門分野固有の電子ジャーナルパッケージや個別タイトルについては、部局経費により契約し、利用に供している。

電子ジャーナルは、恒常的な購読価格上昇、為替レートの変動により、予算確保に苦慮している。購読価格上昇に対応するため、2011（平成23）年4月に大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）が結成され、出版社と価格及び利用条件交渉を進めている。

### 1. 第5期学術情報基盤整備計画（概要）

#### （1）対象とする電子ジャーナル

本整備計画が対象とする電子ジャーナルは、複数の専門分野をカバーするパッケージとして提供されるものとする。特に共通性が高く、重要と判断される個別タイトルについては、コア電子ジャーナルとして本計画の対象とする。

#### （2）バックファイル等電子資料の整備

年間契約する電子ジャーナルの対象範囲に含まれないバックファイルについても本計画の対象として整備を進める。利用できる電子ジャーナルが少ない人文社会科学分野を対象とする電子資料の整備についても留意する。

#### （3）利用環境の整備

電子ジャーナル等を迅速・効率的に活用するために必要なデータベース、アクセス・ツール及び文献管理ツールの整備を継続して進める。大学構外からも電子ジャーナル等を利用できる環境の充実を図るとともに、携帯機器を用いた利用の支援など、より一層の利便性向上に努める。

#### （4）導入経費等

本計画における電子資料の導入経費には、全学共通経費、部局経費及び間接経費等を充てる。また、出版者等との契約にあたっては、市

場調査のほか、JUSTICE（大学図書館コンソーシアム連合）などの関係団体とも連携しながら価格交渉を行う。

### 2. 第6期（平成28年度～平成30年度）学術情報基盤整備計画の策定

附属図書館運営会議（2014（平成26）年度 第5回／2015（平成27）年3月19日開催）において、第6期学術情報基盤整備計画の基本方針及び購入する電子ジャーナル・データベース等が承認された。特に電子ジャーナルについては、複数の専門分野をカバーするパッケージ系を中心に選定し、特定の専門分野のパッケージ及び個別タイトルは、原則として必要とする学部等で整備することとなった。

価格上昇に対応するため、アンケート調査やダウンロード件数などの利用状況を考慮した上で審議した結果、一部のパッケージ等は中止することとなった。平成28年より中止となったのは、「Cambridge Online Package」[ProQuest Research Library, Health and Medical Complete] [Nature 関連4誌] [New England Journal of Medicine] [RefWorks] である。この中で、[Nature Medicine] [New England Journal of Medicine] については、医学部附属病院経費にて継続される。

第5期学術情報基盤整備計画で提供している電子ジャーナル・データベース等

電子ジャーナル/データベース名称	タイトル数	概要	備考
Elsevier ScienceDirect	約2,200	Elsevier社発行のほぼすべての電子ジャーナル	
Wiley Online Library	約1,400	Wiley Online Library 収録の電子ジャーナル	
SpringerLink	約1,600	Springer社発行のほぼすべての電子ジャーナル	
Oxford Online Package	約250	Oxford University Press の電子ジャーナル	
JSTOR : Art Sci. I, Health & General Sci.	約250	学術雑誌バックナンバーのアーカイブ	
Nature（関連4誌含む）	5	Nature Publishing Group発行の電子ジャーナル	2016（H28）本誌以外中止／一部部局経費で継続
PNAS	1	米国科学アカデミー発行の電子ジャーナル	
Science	1	アメリカ科学振興協会が発行する電子ジャーナル	
Cell	1	Cell Press が発行する電子ジャーナル	
Web of Knowledge（Web of Science + JCR）	-	自然科学・社会科学・人文学の世界代表ジャーナル・会議録・専門書を収録する引用文献データベース	
EJ Access Tools（Summon + 360LINK）	-	多様な電子リソースを横断的に検索可能なディスカバリーサービス及び電子リソース管理ツール	
Cambridge Online Package	約300	Cambridge Univ. Pressの電子ジャーナル	2016（H28）中止
ProQuest Research Library, Health and Medical Complete	約7,000	様々な学会や学術出版社の発行している電子ジャーナル	2016（H28）中止
New England Journal of Medicine	1	マサチューセッツ内科外科学会発行の学術雑誌	2016（H28）中止／部局経費で継続
RefWorks（文献情報管理ツール）	-	文献情報管理および論文作成支援ツール	2016（H28）中止



# ■ 研究開発室の活動状況

附属図書館研究開発室は、図書館業務やサービスの向上を目指して、室員が専門的な立場から特定課題についての研究開発を行うことを目的として2006（平成18）年に設置された。2015（平成27）年度は、室員の任期の1年目として下表の体制で、戦略的機能強化推進経費の配分を受けて活動を行った。

2015（平成27）－2016（平成28）年度 室員名簿

委嘱名	所属・職名	氏名	テーマ	委嘱名	所属・職名	氏名	テーマ
室長	館長	杉江 実郎	研究開発室の統括	副室長	医学図書館長	杉本 利嗣	研究開発室の統括 (医学図書館関連)
顧問	島根大学名誉教授	松尾 寿	記録史料（近世）	顧問	島根大学名誉教授	常松 正雄	英米文学
室員	法文学部教授	田中 則雄	和古書（国文学）	室員	法文学部准教授	野本 瑠美	和古書（国文学）
室員	法文学部教授	小林 准士	記録史料（近世）	室員	元職員	加本 純夫	記録史料（近世）
室員	教育学部教授	森本 直人	教科書データベース	室員	教育学部教授	権藤 誠剛	教科書データベース
室員	医学部教授	岩田 淳	西東文庫				

## 1. 桑原文庫の調査・研究

### ○室員

田中則雄(法文学部教授)  
小林准士(法文学部教授)  
野本瑠美(法文学部准教授)

桑原家から2013年度に寄贈を受けた資料の整理はほぼ完了し、2014年度末から2015年度にかけて追加で寄贈を受けた数百冊の資料について整理方法を検討した。この中には桑原羊次郎の手稿等の貴重な資料も含まれている。

また、職員を対象とした古文書研修会を室員の小林准士法文学部教授の指導により計6回開催した。

## 2. 教科書データベースの作成

### ○室員

森本直人(教育学部教授)  
権藤誠剛(教育学部教授)

対象となる教科書資料について、所蔵目録データベース(OPAC)への登録を開始した。教育課程文庫、児童・生徒用教科書(戦前期)及び師範学校教師用教科書については、登録を完了し、旧制松江高等学校の教科書について登録作業を継続中である。書架上での配架調整作業及び請求記号付与は学内ワークスタディの学生が行い、データベースへの登録作業を職員が行った。

## 3. 西東文庫の調査・研究

### ○室員

岩田 淳(医学部教授)

2014年度に引き続き、西東文庫の展示用パネル8枚を作成した。次の旅行記の中から風景、風俗、習慣について描かれたイラストや版画等の挿絵を集め、それぞれ2枚のパネルにまとめた。

- ・ Unbeaten tracks in Japan 1880年 (Isabella L. Bird)
- ・ Japan in our day 1892年 (Bayard Taylor ; William Elliot Griffis)
- ・ Japan : a record in colour 1901年 (Mortimer Menpes)
- ・ Promenades japonaises 1878年 (Emile Guimet ; Felix Regamey)

## 4. 「御用頭書」の解読及び研究

### ○室員

加本純夫(元図書館職員)  
松尾 寿(研究開発室顧問/島根大学名誉教授)

「御用頭書」(松江市雑賀町の野津家所蔵)は、松江藩山羽山重樹による文久2年11月22日から文久3年8月23日までの日記である。所蔵者の野津隆氏(故人)による解読原稿をもとに文字起こしを行い、現在校正作業を継続している。

## 5. デジタルアーカイブ・システム

PDF形式で公開されているものについて、ページごとにサムネイルを表示するとともに、各ページをJPEG形式で表示する改良を行った。これによりサイズの大きいファイルをストレスなく表示できるようになった。また、国絵図など旧システムの形式で公開されているデータについて、新サーバ用のデータ形式に更新を行っている。

図書館振興財団の助成事業として行っている河本家古典籍のデジタル化と公開事業において、ADEACシステムから公開している河本家古典籍を本学デジタルアーカイブからも検索可能なようにメタデータを登録した。また、本学デジタルアーカイブで公開している桑原文庫のメタデータをADEACシステムに登録し、本学デジタルアーカイブ上の桑原文庫をADEACから検索・閲覧可能なようにデジタルアーカイブ間の連携を図った。

## 6. 資料のデジタル化

次のとおり本学所蔵資料のデジタル化を行った。

- ・ 桑原文庫 300冊
- ・ 抄物 189冊
- ・ 大森文庫 22冊

桑原文庫、大森文庫のデジタル化は業者委託し、抄物は学内ワークスタディの学生が作業を行った。

学外機関等の所蔵資料のデジタル化については、次のとおりである。

- ・ 手銭家資料 5点10冊
- ・ 河本家古典籍 46点72冊

## ■ 図書館コンシェルジュの活動

「図書館コンシェルジュ」とは、学生スタッフが職員と協働し、附属図書館におけるピアサポートを進めるとともに、学生の視点によるサービスの改善等を目的とする取り組みである。こうした取り組みは広く学生協働と呼ばれ、本学では、教育開発センターの協力のもと全学のピアサポートプログラム（正課PSP）の一環として、2010（平成22）年度より行っている。2015（平成27）年度は前年度の経験者5名を含む31名が図書館コンシェルジュの活動を行った。

2015（平成27）年度は、2014（平成26）年度に引き続き「自主企画活動」および「利用サポート活動」の二つを柱とし、「学生協働交流シンポジウム」へも継続して参加した。

### 1. 自主企画活動

コンシェルジュの学生が自主的に企画を立案し、実行する活動を指す。また、立案から実行までをほぼコンシェルジュのみで行う「学生中心の活動」と、ある程度職員が実施等に関わる「職員との協働による活動」とに大別される。2014（平成26）年度までは企画ごとにチームを組織していたが、2015（平成27）年度は、全体を「イベントチーム」「展示・グッズチーム」「広報チーム」という3つのチームに分け、それぞれのチームの特性に応じた企画を担当することとした。

#### <学生中心の活動>

- ・ 図書の企画展示（ブック★コンパス）
- ・ 絵本の読み聞かせ（☆）
- ・ 図書館謎解きゲーム（オープンキャンパス企画）（☆）
- ・ ブックカバー作成
- ・ 館内飾りつけ（七夕、ハロウィン、冬）
- ・ 読書会
- ・ 大学図書館間交流会（☆）

#### <職員との協働による活動>

- ・ 館内ツアーガイド
- ・ 広報誌発行
- ・ ただ日本語で話すだけ@ラーニングcommons（☆）
- ・ ラーコモカフェ（☆）
- ・ 松江市立図書館団体貸出（☆）

上に挙げた企画活動のうち、（☆）が付記されているものについては、2015（平成27）年度から新しく開始されたものである。その中から、学内の他部局や学外機関等と連携して行ったものを紹介する。

「ラーコモカフェ」は、学生たちが普段あまり話す機会のない学内外の様々な人々をプレゼンターとして附属図書館のラーニングcommonsに招き、聴き手との対話を通じた交流を行おうという趣旨で、第一



回は服部泰直学長をゲストとして1月に行った。当日の参加人数は約30名で、聴き手として参加した学生たちは、学長を相手にやや緊張した面持ちながらも活発に質問を行っていた。

「松江市立図書館団体貸出」は、松江市立中央図書館の団体貸出制度を利用しており、コンシェルジュが実際に中央図書館に出向いて100冊の本を選び、附属図書館に展示・貸出を行う企画である。「絵本の読み聞かせ」も同様に松江市立中央図書館の協力を得、同図書館を利用する幼児、児童を対象に行った。読み手となるコンシェルジュは、事前に島根県立大学松江キャンパスの「おはなしレストランライブラリー」を見学し、読み聞かせの方法等を学んだ。

### 2. 利用サポート活動

利用サポート活動は、主に附属図書館のカウンターにおいて図書館の使い方や資料の探し方など利用者からの質問や相談に対応するもので、正課PSPによる予算支援を受けて行われている。この活動の意義は次に挙げる2点である。1点目は、図書館の利用者、特に学生に対して、コンシェルジュが対応することで質問や相談をしやすい環境を提供することができる。2点目は、コンシェルジュにとって、利用者の質問に対応することで、自身の知識を増やし、スキルを高める機会となる。2014（平成26）年度はメインカウンターとサブカウンターにコンシェルジュが座り、両方の活動したコマ数や質問件数等を合算していたが、2015（平成27）年度は、メインカウンターのみでコンシェルジュが座るように変更したため、活動したコマ数や質問件数が減少した。

### 3. 学生協働交流シンポジウム

学生協働交流シンポジウムは、様々な大学の図書館で活動する学生協働スタッフが各大学の取り組みを共有し、交流する場として2011（平成23）年より毎年開催されている。

2015（平成27）年は第5回目となり、9月8日（火）～9日（水）に山口県下関市の梅光学院大学で開催された。参加した大学数は約30、参加人数は約200人に上った。

基調講演やワークショップ、ポスター発表などのプログラムが生まれ、コンシェルジュたちはそれぞれのプログラムに積極的に参加し、他大学の学生や教職員等とコミュニケーションをとっていた。中でも基調講演「共読」において紹介された目次読書法は学生たちに大きな影響を与えたようで、その後のコンシェルジュの企画、特に読書会の実施方法に活かされている。

大学図書館の学生協働という分野で、全国から30もの大学が集結する機会は他にない。参加した学生たちには、ここで得られた知見を活かして、これからの図書館コンシェルジュの活動を発展させていくことが期待される。

## ■ 社会貢献 — 学術情報の提供をとおして —

附属図書館は、所蔵する学術情報の提供をとおして、様々な形で社会貢献活動を行ってきた。県内の図書館ネットワークによる図書の貸出や貴重資料の展示貸出、出版物等への掲載や放映のための画像提供などである。また、所蔵資料等を活用した企画展示や関連する講演会・シンポジウム等も開催している。ここでは、2015（平成27）年度に主に学外機関等と連携して行った講演会等の企画について紹介する。

### 1. 河本家古典籍のデジタル化と公開 — 関連講演会を開催 —

国指定重要文化財河本家住宅保存会（鳥取県東伯郡琴浦町）と連携して、図書館振興財団の助成金による河本家所蔵古典籍のデジタル化とインターネット公開事業を2014（平成26）年度から3ヵ年計画で進めている。第1次公開時（2015.4）及び第2次公開時（2015.10）に、河本家住宅保存会と連携して次の関連講演会を開催した。

2015年4月29日（会場：河本家住宅）

・河本家古典籍のデジタル化と公開（Ⅰ）

昌子喜信（島根大学附属図書館）

・河本家古典籍から見る江戸文学の世界

田中則雄（島根大学法文学部教授）

2015年10月11日（会場：河本家住宅）

・河本家古典籍のデジタル化と公開（Ⅱ）

昌子喜信（島根大学附属図書館）

・江戸後期の長編小説『絵本忠臣蔵』をめぐる一

田中則雄（島根大学法文学部教授）

田中教授の講演では、デジタルアーカイブに収録された古典籍を活用した研究の実際と（4/29講演）、河本家で多数所蔵されている「実録」を取り上げて、読本『絵本忠臣蔵』の成り立ちと意義を、素材となった実録『赤穂精義内侍所』と浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』の比較をとおして解明された（10/11講演）。

### 2. 企画展示「戦争と平和を考える2015」 （2015.8～2015.11）

日中戦争以後の旧制松江高等学校の学生や地域の子どもたちに焦点を当て、戦争によって変わりゆく日常の様子を展示した。展示資料は、ギャラリートークでお話しをいただいた渡部節雄氏（出雲市平田町）の所蔵資料を中心に、本館が所蔵する関連資料で構成した。また、テーマに関連する図書館職員の推薦図書を展示し、貸出を行った。

資料展示に関連してラーニングコモンズにおいて渡部節雄氏によるギャラリートークを開催した。

2015年9月25日（金）（会場：1階ラーニングコモンズ）

・「私の戦争体験」、そして憲法と平和

渡部節雄（出雲市平田町）

ギャラリートークでは、戦争で父を亡くした自身の戦争体験をもとに、平和の尊さが語られた。

### 3. 講演会「ラフカディオ・ハーンの生まれた世界」

創立10周年を迎えた島根大学ラフカディオ・ハーン研究会と附属図書館の主催により、同研究会会員である長岡真吾法文学部教授の講演会を開催した。

2015年10月3日（土）（会場：島根大学教養講義室棟1号館102室）

・ラフカディオ・ハーンの生まれた世界

長岡真吾（島根大学法文学部教授）

同研究会は、附属図書館の編集による『教育者ラフカディオ・ハーンの世界』の刊行を契機として、2006（平成18）年に発足したもの

で、島根大学の教職員、学生や一般市民を会員として、ハーンの世界を原書で講読する月例の読書会を主な活動として、ハーン研究を推進している。

講演は、後にハーンの両親となる英国陸軍将校チャールズ・ブッシュ・ハーンと島の娘ローザ・アントニア・カシマチが出会った当時のイオニア諸島の社会状況や文化・伝統を、資料をたどりながら解き明かそうと試みたもので、市民や同研究会の会員、大学関係者や学生など46名が参加した。

また、附属図書館展示室入口付近のロビーにおいて、関連する資料展示を行った。



### 4. 講演会「外と内から見た図書館」

松江市立図書館との共催により田籠博前附属図書館長の講演会を開催した。講演会は、島根県図書館協会の活動助成金を得て、島根県大学・高等専門学校図書館協議会の職員研修会を兼ねて開催されたものである。

2015年10月24日（土）（会場：松江市総合文化センター）

・外と内から見た図書館

田籠博（島根大学名誉教授・前附属図書館長）

講演では、研究者としての自らの図書館活用の体験と図書館長として図書館運営に携わった経験から、最近の大学図書館の活動状況と新たな活用方法が紹介された。また、講演の後半では、日本語学者としての、古典籍や古文書を活用した研究の実際を史料に即して解説された。講演会場には、関連する実物の古典籍が展示され、講演後には、展示資料の解説も行われた。





## ■ 本館におけるカビの発生とその対応

附属図書館本館では、2013（平成25）年4月に耐震機能改修を終え、複層窓ガラスや断熱材の使用により、以前より電気使用量の削減を行うことができた反面、気密性が向上したことによる新たな問題が顕在化した。2014（平成26）年秋に書庫2階の洋図書にカビが発生していることが確認されたのである。当初は夏季の天候不順と換気の問題により一時的に発生したものと考えていたが、対策を講じていく中で、当初の想定よりもっと大きな問題であることが徐々に明らかになってきた。

### 1. カビ被害状況の把握と対応（2014年度）

2014年9月に行った簡易調査では以下の状況だった。

なおカビは資料の背とみぞ、表紙に発生している。（☆）が付記されている部分が最も被害が大きい。

エリア	発生箇所
閲覧室（1～3階）	・ 1階の製本洋雑誌の一部 ・ 2階の和書の一部
書庫（1～2階）	・ 2階の洋書（☆） ・ 1階の製本和雑誌 ・ 1～2階の北側の壁に近い書架の下段にある利用の少ない資料
積層書庫（3～8階）	・ 7階 ・ 8階

この結果をもとに施設企画課に相談し、空調の調整や温湿度計を設置してモニタリングを行うとともに、カビ対策のための予算を追加で要求・獲得した。そして3月に業者と職員によりカビ発生資料及び書架のクリーニング作業を行った。作業エリアは、利用者への健康被害、経費、作業時間を考慮して、閲覧席と隣接する雑誌エリアを選定した。（作業分担）

- ・ 職員：書庫1階（和雑誌）、書庫7階
- ・ 業者：閲覧室1階（洋雑誌）及び書庫2階（洋書）の一部

このほか、2014年度は閲覧室資料について、カビの発生源となる埃の除去作業を行った。



業者によるクリーニング作業

### 2. カビ対策の研修と除去作業（2015年度）

2015年8月に、上記カビクリーニングを行った業者によるカビ対策の研修を職員向けに実施し、カビについての基礎知識や除去方法とその注意点等を学んだ。そしてこの研修結果をもとに、残っているエリアの作業計画の見直しを行った。カビの発生が顕著な書庫2階の洋書を作業対象とし、特にカビ発生の酷い場所は業者に依頼して、その他の場所を職員で作業を行った。職員はヘパフィルター付き掃除機とア

ルコールを使用して書架と図書を1冊ずつクリーニングした。

しかし、9月にクリーニング済み箇所でもカビの再発生が確認されたためカビの完全除去は断念し、作業の見直しを行い、作業方法を簡略化した。その後は、発生したカビの除去を中心とした作業を継続したが、年度中に作業は終了しなかった。

### 3. 温湿度のモニタリング

2014年度末に温湿度データロガーを館内8ヶ所に設置し、2015年4月よりネットワーク経由での監視と記録を開始した。

2015年度場所別月平均湿度（％）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
閲覧室1F	48	51	58	68	68	64	54	57	54	49	46	47
閲覧室2F	46	47	53	66	70	65	53	55	51	47	47	46
書庫1F	46	55	60	67	72	75	67	67	62	54	53	53
書庫2F	46	52	59	68	72	72	64	64	63	55	53	52
書庫7F	44	43	43	42	42	45	44	45	45	47	49	48

表では、カビが発生している閲覧室1・2階及び書庫1・2階に加えて、比較対象として、除湿機の設置されている書庫7階の月平均湿度を抽出した。

書庫7階では、除湿機を稼働させていることで年間を通じて湿度が50%以下にとどまっており、カビの再発生は見られない。対して閲覧室では、7月～9月の3ヶ月間は湿度が60%を超え、書庫では、6月～12月の7ヶ月に渡り60%を超える状況が続いている。つまり9月にクリーニング済みエリアでカビの再発生が見られたのは、夏季に高湿度状態になっていたことが原因と考えられる。

### 4. 空調機器の調整

閲覧室及び書庫の空調設備は、エアハンドリングユニットとエアコンを併用する形で使用している。

上記の温湿度情報は施設整備課と共有し、湿度の上がり始めた6月より設定温度の変更や連続運転をするなど対策を講じた。梅雨時期は外気温が比較的低い状況で湿度が上がるため、設定温度を下げ、エアコンのドライ運転を実施した。そして夏に入ってから湿度が高い状況が続いたため、空調機器の24時間運転を行った。

この他、外気取り入れの制限等を行ったが、表の通り湿度が高い状況が続いている。特に書庫1・2階については12月まで続いた。

### 5. 経費申請

収集したデータを元に、既存設備では閲覧室・書庫の温湿度環境の改善を行うことができないと判断し、根本的対策のため、「平成28年度以降における施設整備に関する要望」として「附属図書館温湿度対策事業」の申請を行った。

# 統計

## 2015(平成27)年度データ

各種統計の詳細版は図書館HPの以下のページで公開している。  
<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/tokei>

		本館 (松江キャンパス)	医学図書館 (出雲キャンパス)	合 計	
開 館 日 数	平 日	234	237		
	土 ・ 日 ・ 祝 日	74	92		
	合 計	308	329		
利 用 対 象 者 数*1 (2016年5月1日現在)	教 職 員	2,886		2,886	
	学 生	4,956	1,160	6,116	
	学 外 者	868	66	934	
	合 計			9,936	
入 館 者 数	学 生 ・ 教 職 員	319,279	167,042	486,321	
	学 外 者	10,427	418	10,845	
	合 計	329,706	167,460	497,166	
貸 出 冊 数	学 生	57,301	12,421	69,722	
	教 職 員	5,851	1,688	7,539	
	学 外 者	4,541	518	5,059	
	合 計	67,693	14,627	82,320	
蔵 書 冊 数 (2016年3月31日現在)	和 漢 書	650,316	68,998	719,314	
	洋 書	156,617	65,896	222,513	
	合 計	806,933	134,894	941,827	
図 書 受 入 冊 数	和 漢 書	購 入	7,647	2,357	10,004
		寄 贈 ・ そ の 他	5,485	180	5,665
		計	13,132	2,537	15,669
	洋 書	購 入	386	298	684
		寄 贈 ・ そ の 他	2,857	17	2,874
		計	3,243	315	3,558
	合 計	16,375	2,852	19,227	
雑 誌 所 蔵 種 類 数	和 雑 誌	8,584	2,129	10,713	
	洋 雑 誌	2,920	1,761	4,681	
	合 計	11,504	3,890	15,394	
雑 誌 受 入 種 類 数	和 雑 誌	購 入	540	171	711
		寄 贈 ・ そ の 他	1,120	200	1,320
		計	1,660	371	2,031
	洋 雑 誌	購 入	156	32	188
		寄 贈 ・ そ の 他	13	36	49
		計	169	68	237
合 計	1,829	439	2,268		
資 料 費 (千円)	図 書	15,533	5,192	20,725	
	図 書 ( 戦 略*2)	2,708	1,290	3,998	
	雑 誌	5,800	4,347	10,147	
	小 計	24,041	10,829	34,870	
	デ ー タ ベ ー ス	10,570		10,570	
	電 子 ジャ ー ナ ル 経 費*3	105,719		105,719	
	合 計			151,159	
文 献 複 写 件 数	受 付	937	1,120	2,057	
	国 内 依 頼	2,038	1,063	3,101	
	海 外 依 頼	0	0	0	
現 物 貸 借 件 数	貸 出	321	9	330	
	借 受	539	13	552	

\*1 日本図書館協会統計調査による（他頁の利用対象者数は、2015年5月1日による）

\*2 戦略的機能強化推進経費（P.7参照）での購入分

\*3 学術情報基盤整備計画（P.8参照）にかかる経費相当分

## 利用者

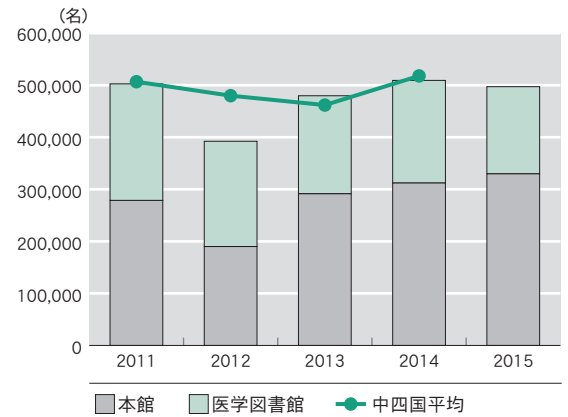
### ■入館者数

		2011	2012	2013	2014	2015
本館	学 生	260,426	-	271,653	290,934	309,620
	教 職 員	7,559	-	9,427	10,705	9,659
	学 外 者	10,629	-	10,319	10,403	10,427
	小 計	278,614	189,974	291,399	312,042	329,706
医学図書館	学生・教職員	223,570	201,885	187,988	196,834	167,042
	学 外 者	425	448	348	359	418
	小 計	223,995	202,333	188,336	197,193	167,460
合 計	502,609	392,307	479,735	509,235	497,166	
中 四 国 平 均	506,710	479,857	461,860	517,860		

※本館は2012年度に耐震・改修工事を行ったため、入館者数の内訳は不明。

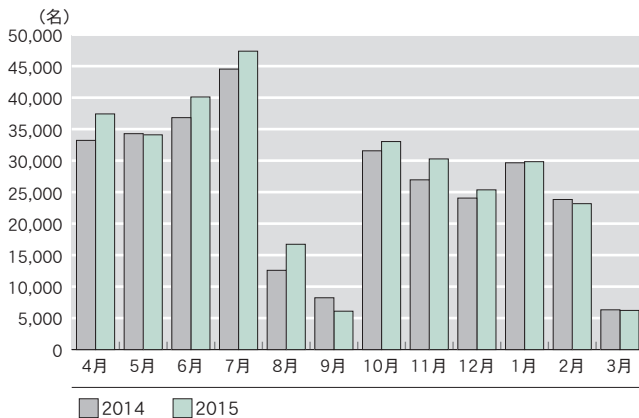
※入館者数の集計方法を遡って変更したため、昨年度までに発行した年報と数値が異なる。

※中四国平均は、「日本の図書館：統計と名簿」（日本図書館協会編）に掲載の中国四国地区国立大学のうち、島根大学と同規模校（学部数2～7学部）7校（広島・岡山・鳴門教育大学を除く）の平均値を用いた。（以下同様）

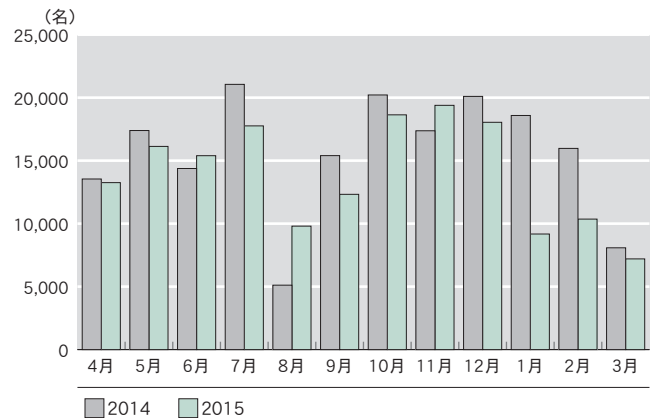


### ■月別入館者数

本館



医学図書館



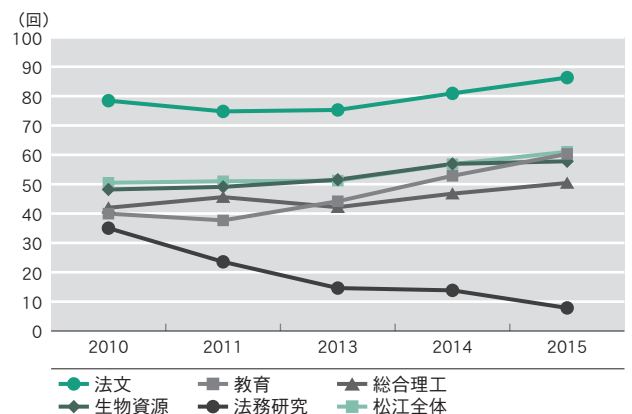
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2014	33,216	34,281	36,826	44,532	12,587	8,230	31,560	26,951	24,055	29,659	23,829	6,316
	2015	37,416	34,097	40,112	47,376	16,721	6,097	33,029	30,272	25,361	29,836	23,168	6,221
医学図書館	2014	13,542	17,390	14,375	21,054	5,115	15,398	20,213	17,371	20,099	18,584	15,971	8,081
	2015	13,254	16,129	15,392	17,758	9,801	12,325	18,635	19,389	18,043	9,175	10,359	7,200

### ■学生1人あたりの年間平均来館回数（本館）

学部	2010	2011	2012	2013	2014	2015
法 文	78.45	74.80	-	75.29	80.93	86.31
教 育	39.97	37.68	-	44.19	52.86	60.29
総合理工	41.98	45.60	-	42.17	46.78	50.41
生物資源	48.19	49.09	-	51.54	56.92	57.81
法務研究	35.03	23.56	-	14.62	13.84	7.86
松江全体	50.48	51.00	-	51.23	56.85	61.05

※医学図書館は入館ゲートがないため算出不可。

※2012年度は本館の耐震・改修工事のため、入館者数の内訳は不明。



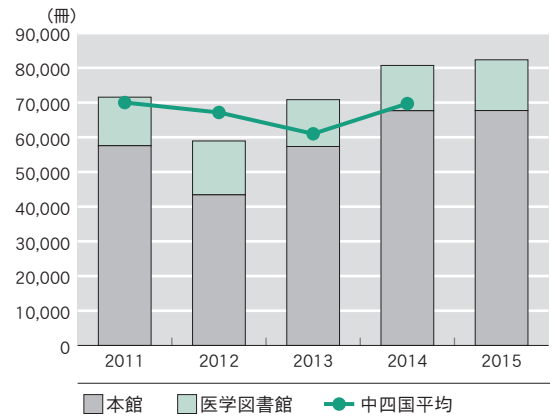


## 貸出

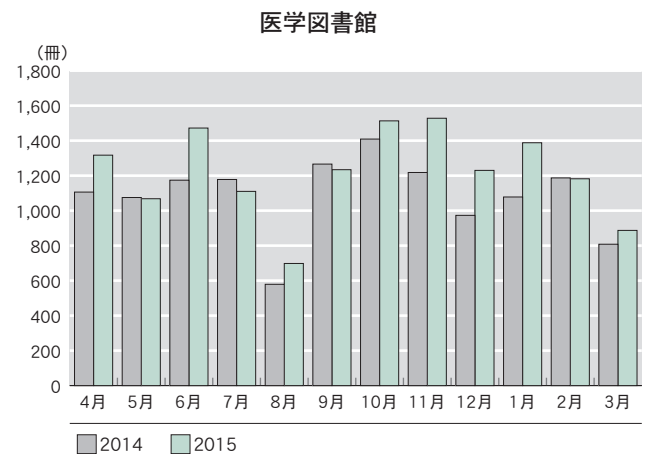
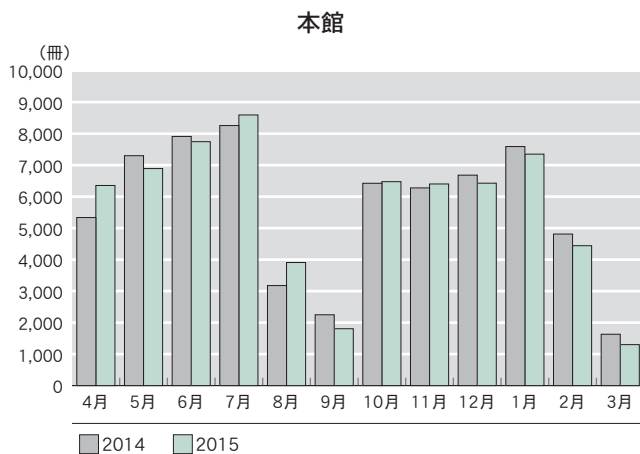
### 貸出冊数

		2011	2012	2013	2014	2015
本館	学 生	49,929	38,734	48,098	57,367	57,301
	教 職 員	5,099	2,984	5,672	6,015	5,851
	学 外 者	2,533	1,686	3,565	4,263	4,541
	小 計	57,561	43,404	57,335	67,645	67,693
医学図書館	学 生	11,754	13,085	11,500	11,051	12,421
	教 職 員	1,567	2,010	1,629	1,709	1,688
	学 外 者	672	431	370	291	518
	小 計	13,993	15,526	13,499	13,051	14,627
合 計		71,554	58,930	70,834	80,696	82,320
中 四 国 平 均		70,000	67,142	61,000	69,710	

※本館は2012年度に耐震・改修工事を行ったため、貸出冊数が減少している。  
 ※貸出回数を集計方法を遡って変更したため、昨年度までに発行した年報と数値が異なる。  
 ※延長貸出も回数としてカウントしている。



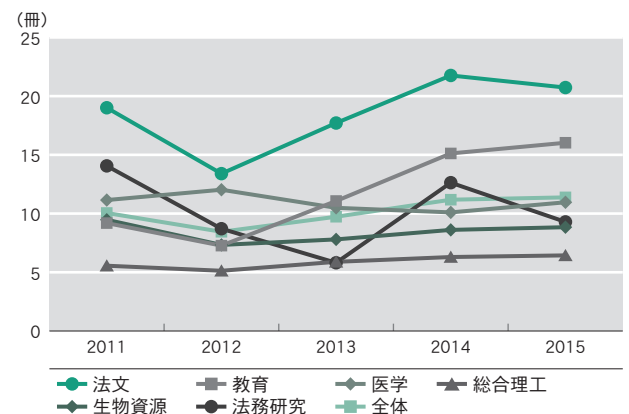
### 月別貸出冊数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2014	5,336	7,300	7,911	8,257	3,176	2,249	6,424	6,277	6,682	7,590	4,812	1,631
	2015	6,354	6,891	7,745	8,593	3,908	1,806	6,475	6,402	6,427	7,349	4,442	1,301
医学図書館	2014	1,106	1,075	1,174	1,178	579	1,266	1,409	1,218	973	1,078	1,187	808
	2015	1,317	1,068	1,472	1,110	698	1,234	1,513	1,528	1,230	1,388	1,182	887

### 学生1人あたりの年間平均貸出冊数

学部	2011	2012	2013	2014	2015
法 文	19.01	13.40	17.71	21.76	20.73
教 育	9.19	7.27	11.07	15.12	16.03
医 学	11.15	12.03	10.49	10.10	10.96
綜合理工	5.56	5.13	5.89	6.30	6.44
生物資源	9.47	7.33	7.80	8.61	8.84
法務研究	14.06	8.71	5.81	12.63	9.29
全 体	10.05	8.45	9.73	11.18	11.38



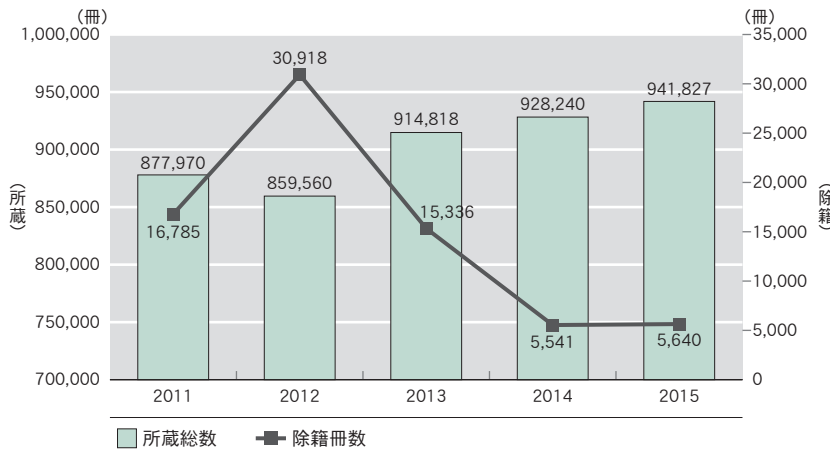
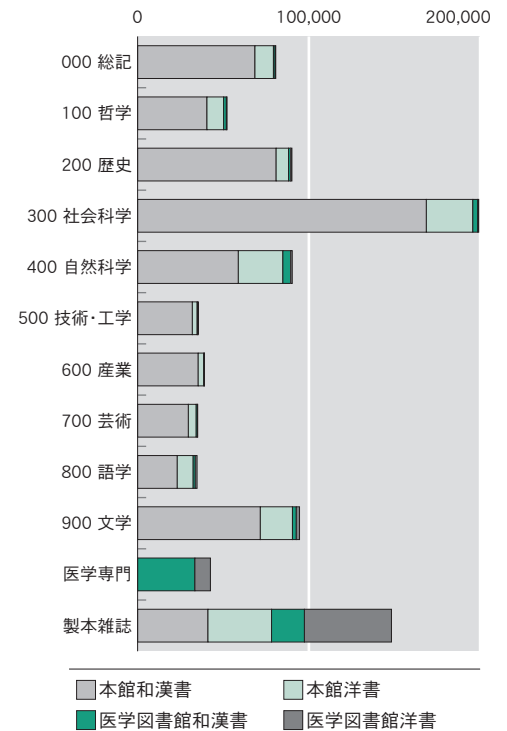
# 統計

## 図書

### ■蔵書冊数（分類別）

分類	本館			医学図書館			合計
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	
000 総記	68,514	10,793	79,307	1,000	355	1,355	80,662
100 哲学	40,492	9,705	50,197	1,629	412	2,041	52,238
200 歴史	80,898	7,232	88,130	1,311	658	1,969	90,099
300 社会科学	168,616	27,122	195,738	2,882	559	3,441	199,179
400 自然科学	58,822	26,008	84,830	4,556	921	5,477	90,307
500 技術・工学	31,975	2,801	34,776	480	33	513	35,289
600 産業	35,394	3,276	38,670	289	26	315	38,985
700 芸術	29,646	4,569	34,215	737	136	873	35,088
800 語学	23,167	9,275	32,442	1,224	1,054	2,278	34,720
900 文学	71,668	18,747	90,415	2,250	1,876	4,126	94,541
医学専門	2	0	2	33,447	9,050	42,497	42,499
製本雑誌	41,083	37,126	78,209	19,195	50,816	70,011	148,220
合計	650,277	156,654	806,931	69,000	65,896	134,896	941,827

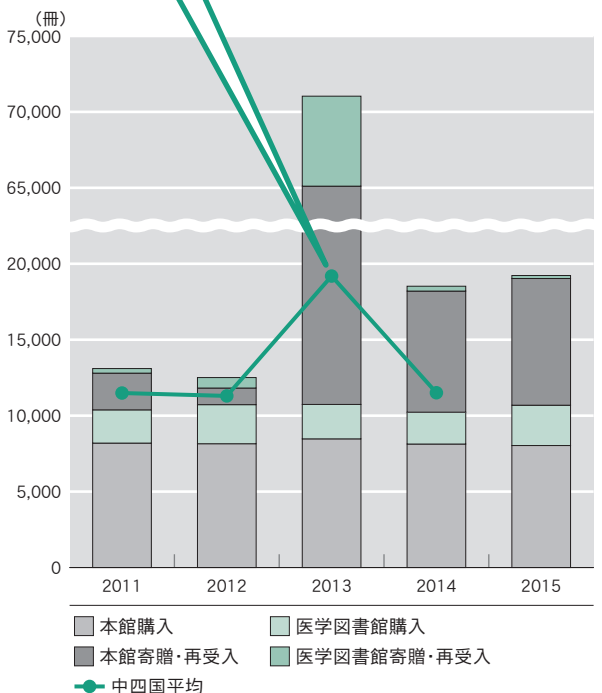
※2016年3月31日現在の数値。ただし、データ抽出は2016年6月1日のため冊数に若干数の変更がある。



### ■受入冊数

		2011	2012	2013	2014	2015	
本館	和漢書	購入	7,605	7,498	8,022	7,857	7,610
		寄贈	1,419	911	2,215	4,859	1,490
		再受入	848	84	45,015	2,832	3,995
	計	9,872	8,493	55,252	15,548	13,095	
	洋書	購入	589	655	451	275	423
		寄贈	138	77	200	163	115
再受入		13	22	6,942	119	2,742	
小計	740	754	7,593	557	3,280		
小計	10,612	9,247	62,845	16,105	16,375		
医学図書館	和漢書	購入	1,815	2,226	2,028	1,842	2,357
		寄贈	225	599	472	169	170
		再受入	59	37	2,506	78	10
	計	2,099	2,862	5,006	2,089	2,537	
	洋書	購入	373	346	238	255	298
		寄贈	17	45	15	25	13
再受入		0	8	2,931	48	4	
計	390	399	3,184	328	315		
小計	2,489	3,261	8,190	2,417	2,852		
合計	13,101	12,508	71,035	18,522	19,227		
中四国平均	11,490	11,300	19,191	11,508			
除籍冊数	16,785	30,918	15,336	5,541	5,640		
所蔵総数	877,970	859,560	914,818	928,240	941,827		

島根大の消耗品一括受入分が  
中四国平均に影響



## 図書館資料費

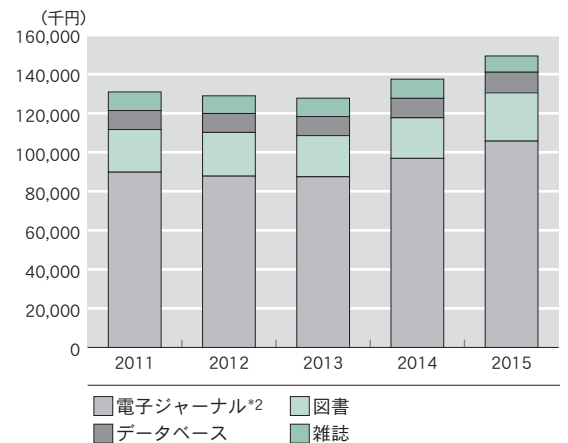
### 図書館資料費の推移

(単位：千円)

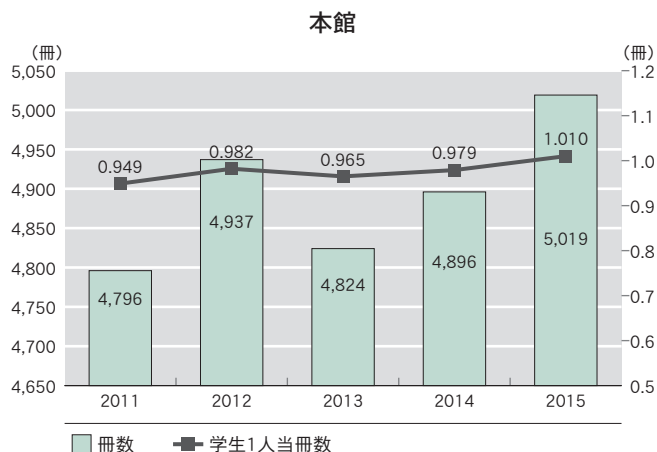
		2011	2012	2013	2014	2015
本館	図書	15,704	16,238	15,807	15,617	15,533
	図書(戦略*1)	-	-	-	-	2,708
	雑誌	5,666	5,231	5,810	5,720	5,800
	小計	21,370	21,469	21,617	21,337	24,041
医学図書館	図書	6,127	6,167	5,289	5,183	5,192
	図書(戦略*1)	-	-	-	-	1,290
	雑誌	3,864	3,820	3,612	4,119	4,347
	小計	9,991	9,987	8,901	9,302	10,829
データベース		9,743	9,700	9,754	9,953	10,570
電子ジャーナル経費*2		89,810	87,766	87,439	96,870	105,719
合計		130,914	128,922	127,711	137,462	151,159

\*1 戦略的機能強化推進経費(P.7参照)での購入分

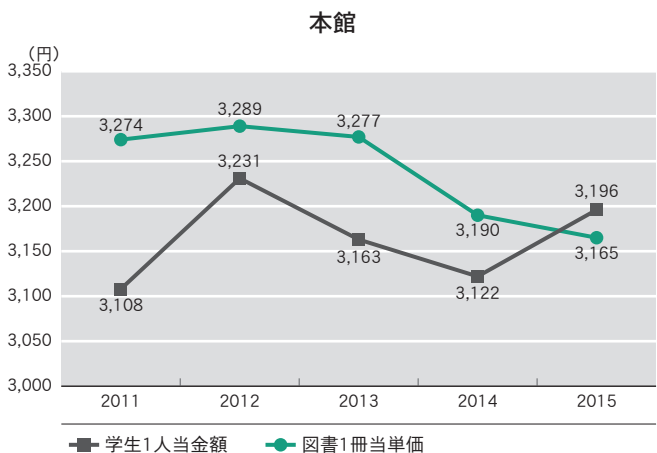
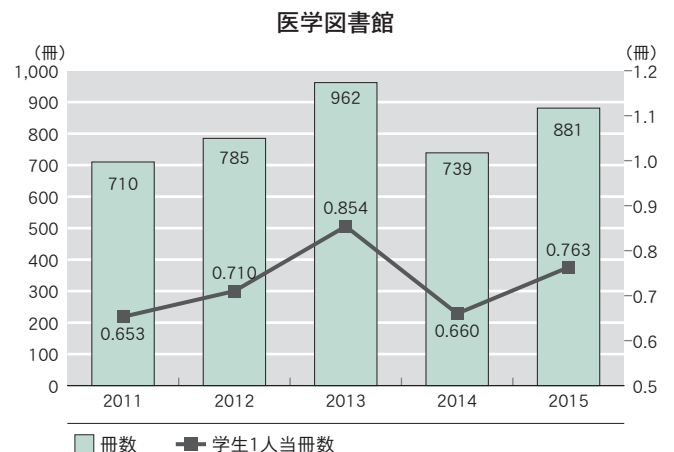
\*2 学術情報基盤整備計画(P.8参照)にかかる経費相当分



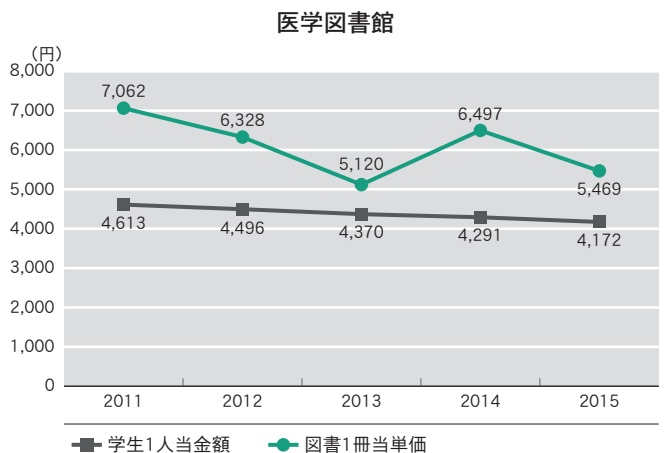
### 学生用図書費



※グラフ中では比較のため、戦略的機能強化推進経費での購入分は含めていない。



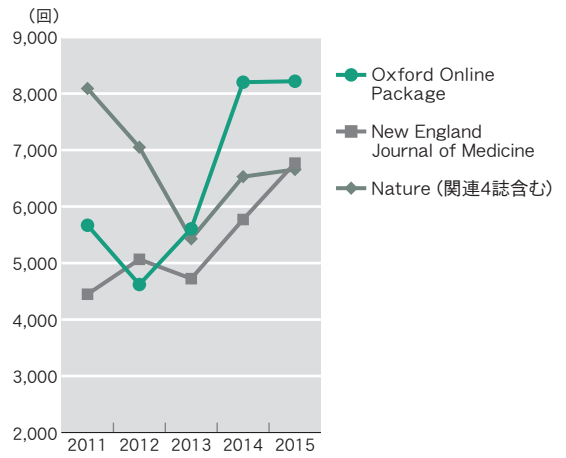
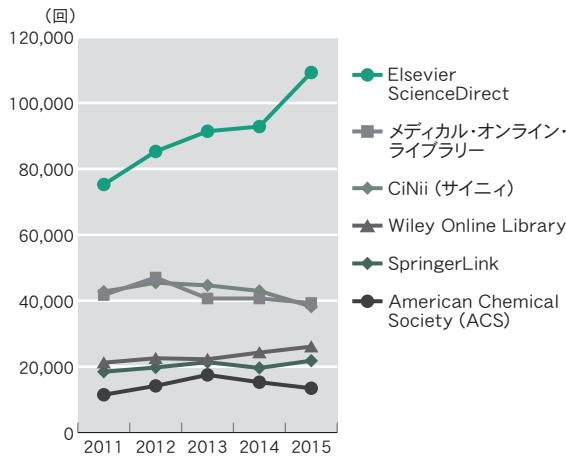
※グラフ中では比較のため、戦略的機能強化推進経費での購入分は含めていない。



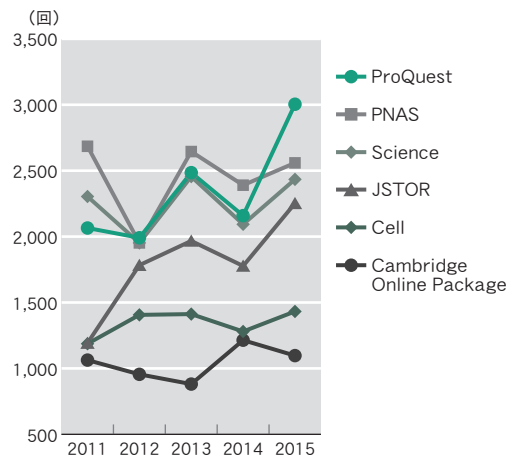


## 電子資料

### ■主要電子ジャーナルパッケージの利用状況（ダウンロード数）



	2011	2012	2013	2014	2015
Elsevier ScienceDirect	75,266	85,289	91,421	92,833	109,247
メディカル・オンライン・ライブラリー	41,714	47,051	40,670	40,675	39,323
CiNii (サイニイ)	42,770	45,470	44,661	42,961	38,218
Wiley Online Library	21,205	22,542	22,237	24,275	26,063
SpringerLink	18,446	19,744	21,358	19,600	21,797
American Chemical Society (ACS)	11,464	14,160	17,490	15,273	13,442
Oxford Online Package	5,669	4,620	5,606	8,201	8,218
New England Journal of Medicine	4,448	5,066	4,724	5,771	6,769
Nature (関連4誌含む)	8,090	7,050	5,429	6,529	6,656
ProQuest	2,065	1,991	2,485	2,159	3,004
PNAS	2,685	1,952	2,645	2,390	2,559
Science	2,304	1,952	2,455	2,093	2,434
JSTOR	1,192	1,783	1,967	1,777	2,252
Cell	1,187	1,406	1,412	1,280	1,432
Cambridge Online Package	1,063	955	881	1,214	1,097



※電子資料・主要データベースの年間統計については、当該年の1月～12月で集計している。  
(他のページでは当該年度の4月～3月)

### ■利用の多い電子ジャーナルタイトル（ダウンロード数）

タイトル	プラットフォーム	2011	2012	2013	2014	2015
New England Journal of Medicine	New England Journal of Medicine	4,448	5,066	4,724	5,771	6,769
Nature	Nature	5,725	5,252	3,705	4,759	4,871
Journal of Biological Chemistry	HighWire Press	5,474	5,693	4,293	3,797	3,382
Journal of the American Chemical Society	ACS Publications	2,810	3,516	4,062	3,028	2,601
PNAS	HighWire Press	2,685	2,302	2,645	2,390	2,559
The Journal of Organic Chemistry	ACS Publications	2,255	2,986	4,047	3,406	1,807
The Lancet	ScienceDirect	1,054	1,188	1,180	991	1,635
Journal of Agricultural and Food Chemistry	ACS Publications	536	482	502	579	1,532
Insect Biochemistry and Molecular Biology	ScienceDirect	251	258	369	496	1,479
Cell	ScienceDirect	1,187	1,406	1,365	1,280	1,432
Organic Letters	ACS Publications	1,032	1,488	2,329	1,360	1,386
Biochemical and Biophysical Research Communications	ScienceDirect	1,118	1,392	1,098	1,285	1,364
Journal of Clinical Oncology	HighWire Press	2,181	1,653	1,540	1,182	1,280
Journal of Nuclear Materials	ScienceDirect	790	734	1,078	1,301	1,254
Angewandte Chemie International Edition	Wiley Online Library	662	831	1,245	1,178	1,214
Tetrahedron Letters	ScienceDirect	990	1,090	1,337	1,149	1,182
Journal of Computational Physics	ScienceDirect	5	6	4	306	1,167
Blood	HighWire Press	1,589	1,882	1,538	635	1,143
Scientific Reports	Nature	-	-	782	961	1,043
Physical Review B	APS	993	939	737	1,197	1,020
Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis	ScienceDirect	100	77	92	127	1,015
Cancer Research	HighWire Press	1,563	1,220	917	59	827
Nature Medicine	Nature	1,095	819	878	904	775
Scientia Horticulturae	ScienceDirect	550	1,650	2,102	390	726
Clinical Cancer Research	HighWire Press	1,190	762	486	20	695
The Journal of Immunology	HighWire Press	1,296	1,254	1,213	590	675
Tetrahedron	ScienceDirect	790	659	1,121	863	588
Brain Research	ScienceDirect	1,064	994	853	612	517

※2015年のダウンロード数が多いものから順に抽出している。

## 電子ジャーナル契約タイトル数

電子ジャーナル経費 (全学共通経費等)	契約先	種別	数
電子ジャーナル経費 (全学共通経費等)	Cambridge Online Package	洋	335
	Cell	洋	1
	Elsevier ScienceDirect	洋	2,243
	JSTOR*1	洋	245
	Nature*2	洋	5
	New England Journal of Medicine	洋	1
	Oxford Online Package	洋	259
	PNAS	洋	1
	ProQuest*3	洋	6,986
	Science	洋	1
	SpringerLink	洋	1,600
Wiley Online Library	洋	1,422	
小計		13,099	
図書館経費 (含む)	American Chemical Society (ACS)	洋	46
	American Physical Society (APS)	洋	8
	British Medical Journal (BMJ)	洋	23
	CiNii (サイニイ)	和	567
	Karger	洋	78
	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	洋	57
	Project Euclid (Prime Collection)	洋	26
	その他個別タイトル	和洋	59
	メディカル・オンライン・ライブラリー	和	1,136
小計		2,000	
タイトル数 合計		15,099	

\*1 Art & Science Collection I, Health & General Science Collection

\*2 関連誌 (Nature Cell Biology, Nature Genetics, Nature Immunology, Nature Medicine) を含む

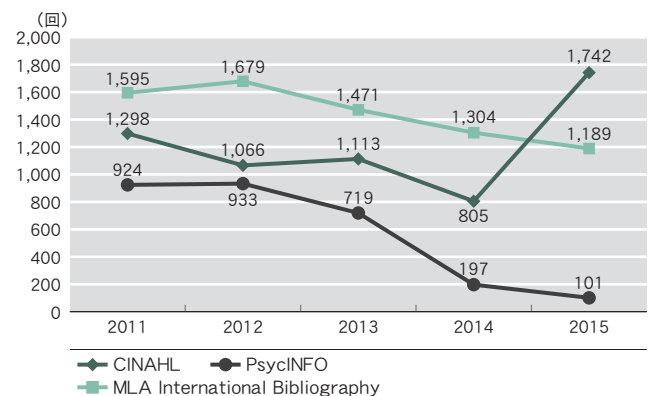
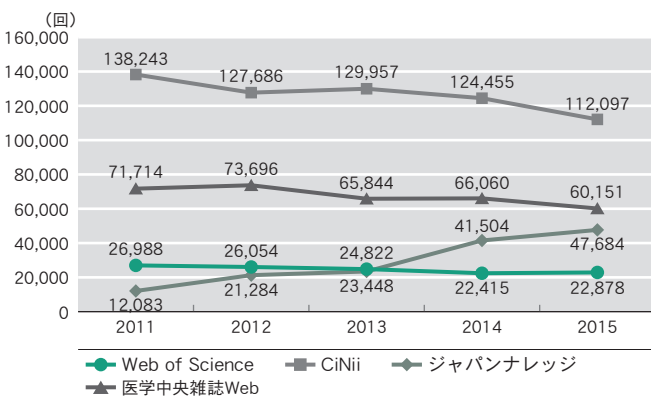
\*3 Research Library, Health and Medical Complete

## 利用の多い電子ブック (ダウンロード数)

タイトル	プラットフォーム	2015
Numerical Mathematics and Advanced Applications 2011	SpringerLink	185
Differential and Difference Equations with Applications	SpringerLink	180
Progress in Industrial Mathematics at ECMI 2010	SpringerLink	152
Traffic and Granular Flow '13	SpringerLink	144
Computational Turbulent Incompressible Flow	SpringerLink	132
Variational Analysis and Applications	SpringerLink	132
Optimal Transport	SpringerLink	120
Dynamics, Games and Science	SpringerLink	117
Algorithms from and for Nature and Life	SpringerLink	110
Advances in Artificial Life	SpringerLink	95
Finite Volumes for Complex Applications VII-Methods and Theoretical Aspects	SpringerLink	95
Numerical Mathematics and Advanced Applications - ENUMATH 2013	SpringerLink	95
Real and Complex Submanifolds	SpringerLink	95
Advances in Theoretical and Applied Statistics	SpringerLink	94
Advanced Concepts for Intelligent Vision Systems	SpringerLink	91
Handbook of Geomathematics	SpringerLink	85
Modeling, Dynamics, Optimization and Bioeconomics I	SpringerLink	84
Classification — the Ubiquitous Challenge	SpringerLink	83
Pedestrian and Evacuation Dynamics 2008	SpringerLink	79
Domain Decomposition Methods in Science and Engineering	SpringerLink	74
Optimization and Optimal Control	SpringerLink	73
Singular Phenomena and Scaling in Mathematical Models	SpringerLink	73
Handbook of Combinatorial Optimization	SpringerLink	68
Nonlinear Elliptic and Parabolic Problems	SpringerLink	68
Spectral and High Order Methods for Partial Differential Equations - ICOSAHOM 2012	SpringerLink	68

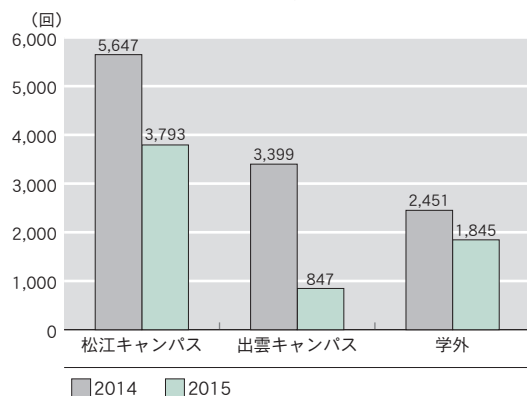
## データベース

### 主要データベースの利用状況 (検索回数)

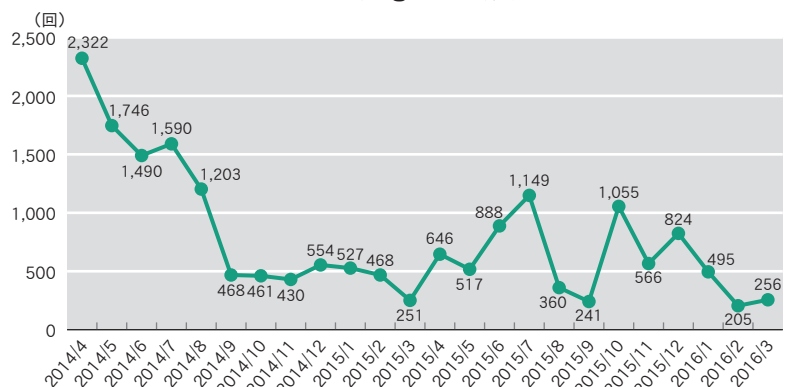


### ビビットサーチ(ディスカバリーサービスSummon)の利用状況

#### アクセス元別



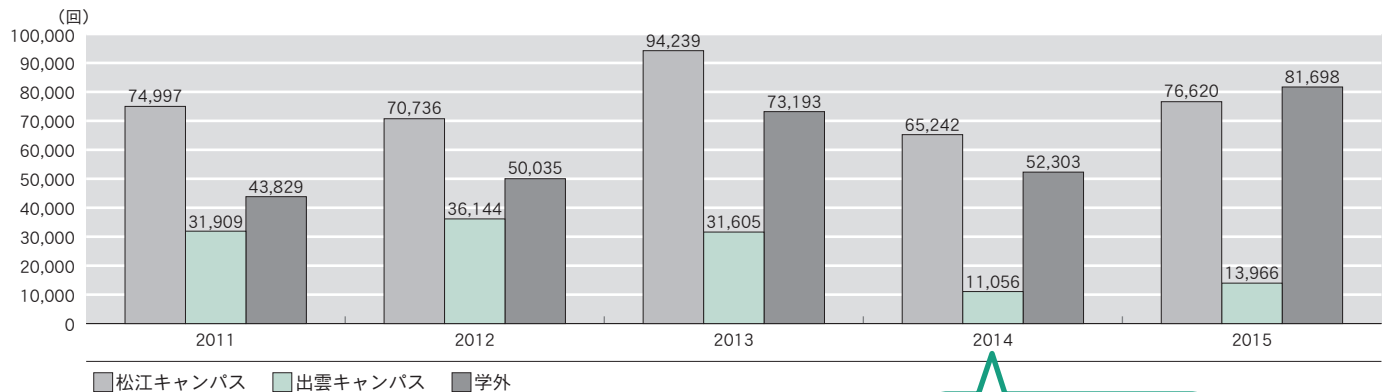
#### 月間PV(Page View)数



# 統計

## Webサービス

### Topページアクセス数



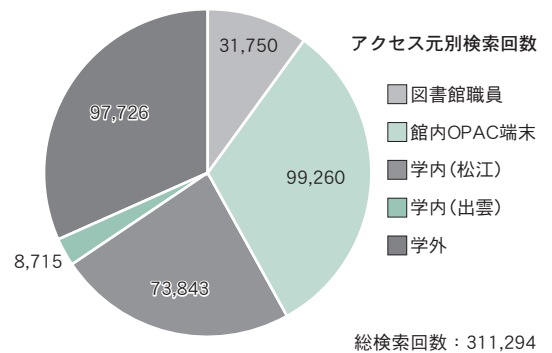
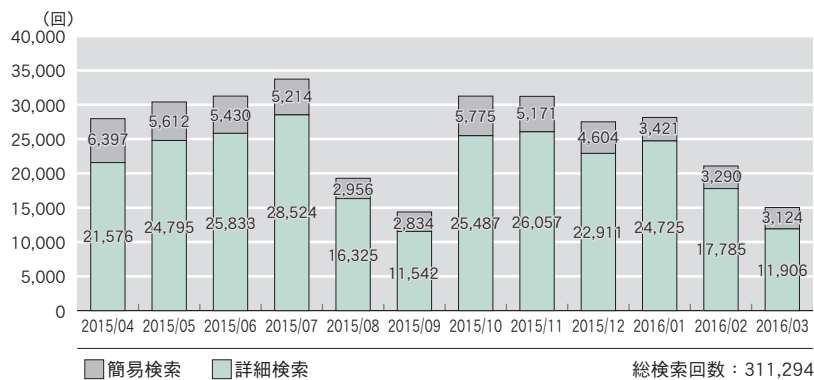
※Botやクローラからのアクセスは除外して集計している。

2014年度よりHPサーバ変更

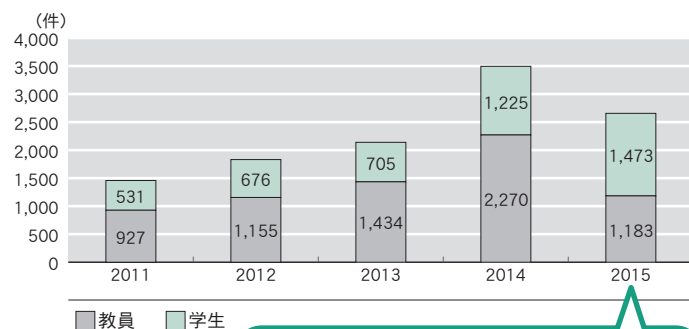
### よく利用されたメニュー

順位	松江キャンパス		出雲キャンパス		学外	
	メニュー	アクセス数	メニュー	アクセス数	メニュー	アクセス数
1	データベースリスト	11,906	データベースリスト	6,234	デジタル・アーカイブ	73,870
2	OPAC配架図	11,442	RSS	1,340	図書館からのお知らせ	41,492
3	デジタル・アーカイブ	4,724	医学図書館利用の方	784	図書館ブログ	30,666
4	図書館からのお知らせ	4,298	図書館からのお知らせ	662	教員寄贈図書	12,152
5	利用案内	1,739	ビビットサーチ	433	FAQ	10,003
6	開館カレンダー	1,642	EZproxy (リモートアクセス)	355	開館カレンダー	8,200
7	ビビットサーチ	1,128	利用案内	278	データベースリスト	4,528
8	教員寄贈図書	948	デジタル・アーカイブ	223	SWAN	4,025
9	図書館の紹介	783	各種申請書 (医学図書館)	213	利用案内	3,702
10	FAQ	735	飲食物についてのアンケート (PDF)	205	RSS	3,200

### OPAC検索回数



### EZproxy (リモートアクセス) ログイン件数



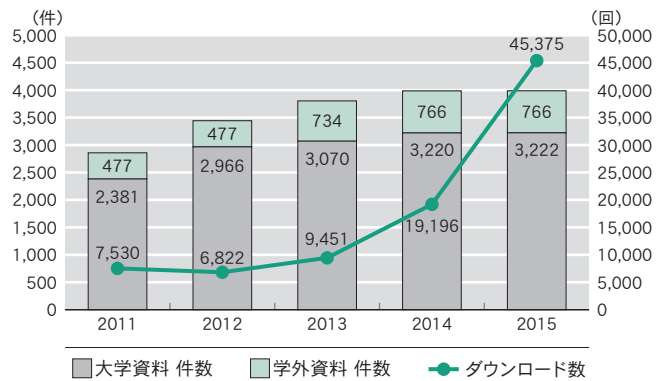
全学でVPN\*を利用できるようになったため減少

順位	サイト名	松江	出雲	合計
1	NCBI(PubMed)	1,426	45,181	46,607
2	Elsevier ScienceDirect	7,729	5,521	13,250
3	American Mathematical Society	9,359	0	9,359
4	CiNii(サイニイ)	3,857	1,200	5,057
5	American Chemical Society(ACS)	3,805	288	4,093
6	医中誌Web	192	3,678	3,870
7	SpringerLink	1,958	1,491	3,449
8	メディカル・オンライン・ライブラリー	325	3,081	3,406
9	Wiley Online Library	868	2,041	2,909
10	リンクリゾルバ	518	2,087	2,605

\*VPNは、本学総合情報処理センターで提供する、学外から学内ネットワークを利用するサービス



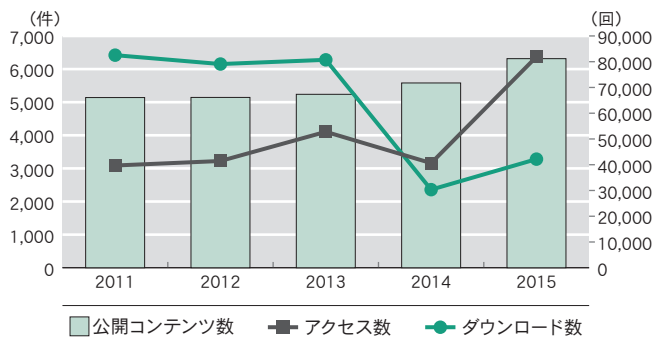
## ■デジタルアーカイブ



## よく利用されたコンテンツ(累計アクセス数)

順位	所蔵	書名	巻	アクセス数
1	桑原文庫	出雲風土記抄	一	1,595
2	貴重資料室	堀尾期松江城下町絵図		1,539
3	第2貴重資料室	通常動物	全	1,132
4	桑原文庫	天草原之城攻諸手仕寄場惣絵図		1,013
5	桑原文庫	和漢三才図会	巻之首	958
6	桑原文庫	出雲風土記抄	二	847
7	桑原文庫	永禄江戸図		822
8	貴重資料室	出雲國風土記	上:能儀郡	820
9	桑原文庫	出雲風土記抄	四	743
10	桑原文庫	出雲風土記抄	三	732

## ■島根大学学術情報リポジトリ (SWAN)



## よく利用されたタイトル(ダウンロード数)

順位	タイトル	2015
1	インターリーブ方式昇圧チョッパ回路のダウンサイズ化に関する一考察	989
2	インターリーブ方式昇圧チョッパ回路の電流平衡制御	640
3	The Syntax and Semantics of Wh-Questions	556
4	Pattern recognition based on naive canonical correlations in high dimension low sample size	403
5	High Efficiency Low Noise SMPS System : Single Phase PFC Rectifier Side	332
6	横打撃共振法による樹木の材質診断技術の実用化に関する研究	329
7	昇圧チョッパ形单相PFC整流器のリカバリレス化	315
8	マツ葉枯性病害の簡易診断法の確立：マツ葉枯性病害の培地による簡易診断と防除法の探索について	312
9	大学生の幼児期の振り返りからみた野菜嫌いの克服法	254
10	Evolution of the fluvial systems and petrography of sedimentary rocks of the Miocene Siwalik Group, Karnali River section, Nepal Himalaya: implications for provenance, paleoclimate and Himalayan tectonics	231

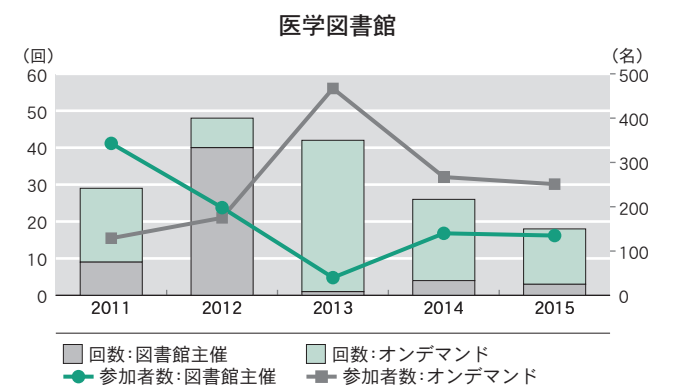
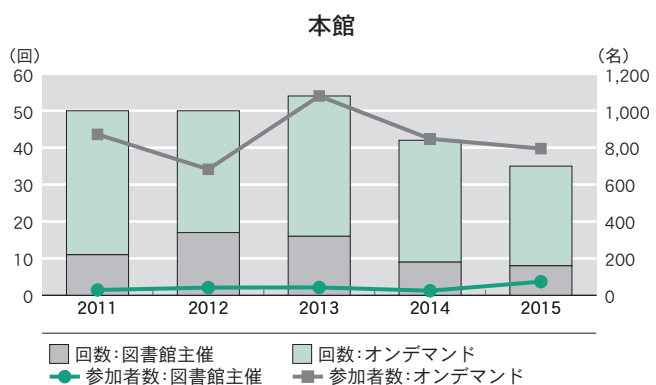
	2011	2012	2013	2014	2015
公開コンテンツ数	5,140	5,144	5,238	5,581	6,315
学内コンテンツ	-	-	1,902	1,922	1,942
アクセス数	39,699	41,451	52,788	40,625	81,930
ダウンロード数	82,550	79,100	80,738	30,324	42,174

## ■講習会

### ■学術情報リテラシー講習会

			2011	2012	2013	2014	2015
本館	図書館主催	回数	11	17	16	9	8
		参加者数	29	42	43	25	74
	オンデマンド*	回数	39	33	38	33	27
		参加者数	872	683	1,080	848	795
医学図書館	図書館主催	回数	9	40	1	4	3
		参加者数	343	198	40	140	135
	オンデマンド*	回数	20	8	41	22	15
		参加者数	129	175	467	267	251
参加総数			1,373	1,098	1,630	1,280	1,255

\*オンデマンドとは、教員と連携して授業内で実施したものや個々の利用者の求めに応じて開催した講習会を指す

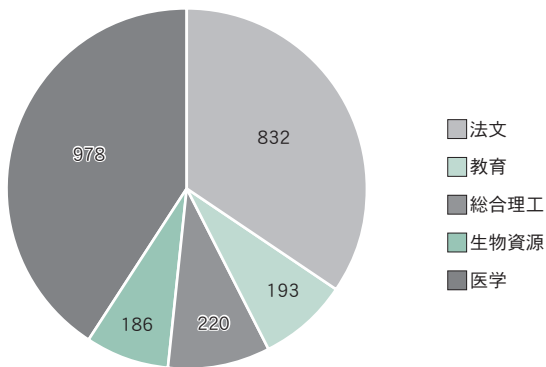


## 相互協力

### 文献複写件数

		2011	2012	2013	2014	2015
本館	受付	1,294	315	997	1,001	937
	国内依頼	2,910	3,156	1,908	2,115	2,038
	海外依頼	8	10	1	1	0
	依頼小計	2,918	3,166	1,909	2,116	2,038
医学図書館	受付	2,182	1,881	1,791	1,512	1,120
	国内依頼	2,115	2,136	1,470	1,199	1,063
	海外依頼	0	1	0	0	0
	依頼小計	2,115	2,137	1,470	1,199	1,063

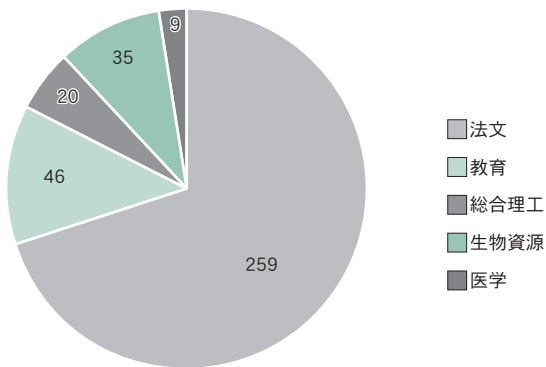
文献複写依頼（取寄）の内訳



### 現物貸借件数

		2011	2012	2013	2014	2015
本館	貸出	413	55	264	272	321
	借受	478	435	430	491	539
医学図書館	貸出	41	22	25	4	9
	借受	18	43	18	8	13

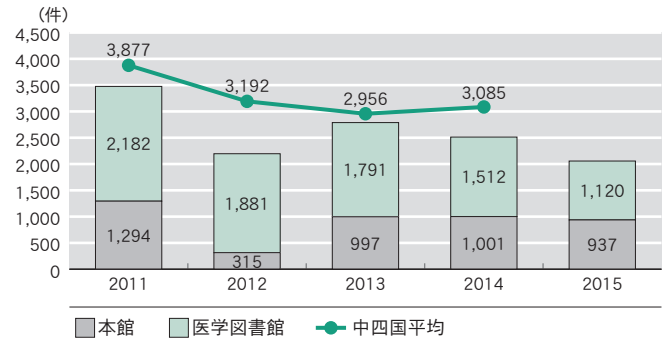
現物貸借依頼の内訳



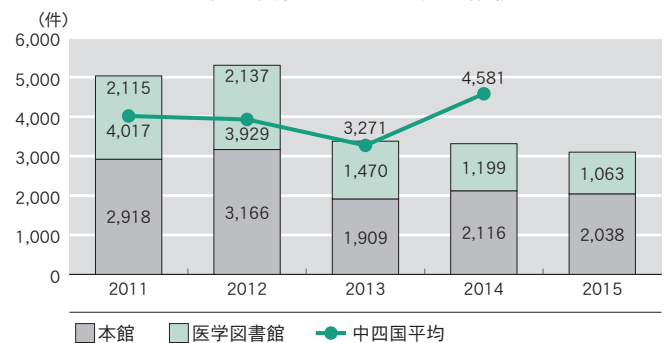
### 県内図書館間の相互貸借（本館）

	貸出冊数							借受冊数						
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
島根県立大学（松江）	6	7	8	3	15	15	26	1	3	4	6	9	6	5
松江高専	11	10	7	4	1	0	7	0	1	3	0	0	0	1
島根県立図書館	5	9	14	7	6	14	23	23	27	6	11	18	24	10
県立以外の公共図書館	22	96	120	53	111	111	131	6	3	19	4	23	13	12
合計	44	122	149	67	133	140	187	30	34	32	21	50	43	28

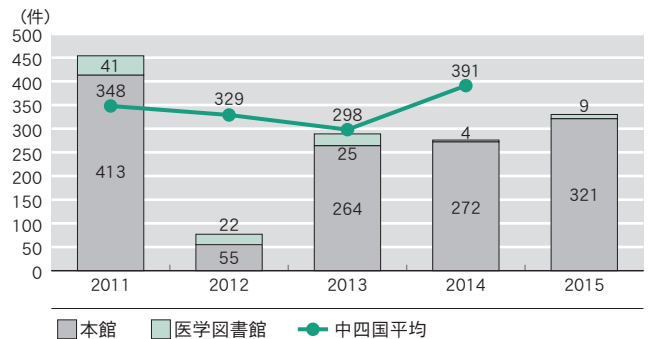
文献複写受付件数の推移



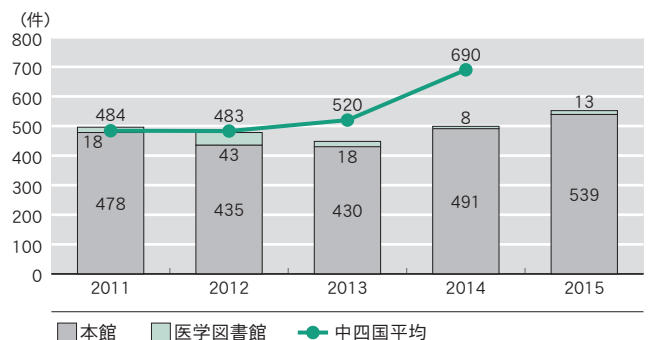
文献複写依頼（取寄）件数の推移



現物貸借貸出件数の推移



現物貸借貸借受の推移



## ■ 図書館日誌 (2015.4～2016.3)

年月日	事	項
2015年 4月15日	本館	新任教員向け図書館ガイダンス
5月 7日	本館	雑誌提供会 (5月8日まで)
5月25日	共通 本館	第1回附属図書館運営会議 第1回附属図書館本館運営会議
5月27日	医学図書館	閲覧机5台に格言を掲示 (8月6日まで)
6月 1日	医学図書館	第1回附属図書館医学図書館運営会議
6月 9日	医学図書館	講座事務担当者向け説明会 (6月10日まで)
6月15日	医学図書館	館内での飲食に関するアンケート実施 (7月17日まで)
6月18日	本館	電子ブックウォール設置
6月25日	本館 共通	学生選書ツアー 全国遺跡報告総覧の公開 (奈良文化財研究所)
8月 8日	本館	図書館コンシェルジュが「図書館謎解きゲーム」等のオープンキャンパス企画を実施 (8月9日まで)
8月28日	本館	企画展「戦争と平和を考える2015」を開催 (12月22日まで)
9月 1日	医学図書館	中学生4名が職場体験 (9月3日まで)
9月 8日	本館	学生協働交流シンポジウム参加 (会場: 梅光学院大学 9月9日まで)
9月28日	本館	中学生2名が職場体験 (10月2日まで)
10月 1日	本館	iPadの館内貸出サービス開始
10月 3日	共通	講演会「ラフカディオ・ハーンの生まれた世界」を開催
10月 6日	共通	英語版ホームページ公開
10月13日	医学図書館	特集コーナー (ブック★コンパス) の設置
10月15日	共通	鳥取県東伯郡の国指定文化財河本家住宅保存会主催の講演会への参加及び講演
10月24日	共通	講演会「外と内から見た図書館」を開催 (会場: 松江市総合文化センター、共催: 松江市立図書館)
10月28日	本館	蔵書リユース市を開催 (10月29日まで)
11月 9日	医学図書館	第24回島根県医療関係機関等図書館 (室) 懇談会 (医図懇) 総会 (会場: 島根県立中央病院)
11月11日	本館	図書館コンシェルジュの活動の一環として「ただ日本語で話すだけ@ラーニングcommons」を開始
12月 3日	本館	図書館コンシェルジュが 第1回ラーコモカフェ「学長と語ろう」を開催
12月11日	共通	国立大学図書館協会中国四国地区実務者会議を当番館として開催
12月14日	本館	一般雑誌の人気投票 (翌年1月15日まで)
12月21日	共通	中華人民共和国の閩南師範大学を訪問
2016年 1月22日	本館	松江市立中央図書館の「団体貸出サービス」の利用を開始
2月15日	共通	第2回附属図書館運営会議
2月17日	本館	キャリアセンターとの共同企画「就活に役立つ日経テレコン活用セミナー」を開催
2月18日	共通 医学図書館	全国遺跡報告総覧シンポジウムを開催 (会場・共催: 奈良文化財研究所) 退館ゲートの更新
3月16日	医学図書館	第2回附属図書館医学図書館運営会議
3月28日	医学図書館	閲覧機の追加とレイアウト変更
3月30日	共通	第3回附属図書館運営会議

## ■ 刊行物

2015年 7月	島根大学附属図書館年報2014
2016年 3月	島根大学附属図書館報「松雲」第18号
毎 月	本館ニュース「LiMe: ライム」(No.70~75)
毎 月	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」(Vol.11, No.4~Vol.12, No.3)



## 資料提供

資料名	掲載資料, 放映番組, 展示会名	
意宇郡平浜八幡宮 (桑原文庫)	掲載	松江市史 史料編8 (松江市史編集委員会)
雲陽誌 (桑原文庫)	放映	伝承者たちの永代願-安来 月の輪神事- (TSK 2015/09/12)
	放映	うらうらとゆく、島根半島四十二浦を巡る旅 (山陰ケーブルビジョン 2015/10/19)
延喜式	掲載	文化愛媛 76号 (愛媛県文化財振興財団)
	掲載/展示	特別展「江戸のグラフィックデザイン 千社札の元祖 天愚孔平」展示図録 (松江歴史館 2015/12/01-2016/02/10)
	放映	もういちど、日本 (NHK 2015/10/01)
	放映	ウワサの食卓 (関西テレビ 2015/12/15)
延喜式膳司	放映	ためしてガッテン 酒かすパワー大公開! (NHK奈良放送局 2015/11/25)
華岡家塾頭免許御書付 (大森文庫)	掲載	島根大学お宝研究 Vol.10 (島根大学研究協力課)
華岡青洲肖像画 (大森文庫)	掲載	企画展示「アナタは何からできている? -健康なからだへのみちしるべ-」展示パネル (東京都立中央図書館 2015/11/28-2016/01/20)
	掲載	島根大学お宝研究 Vol.10 (島根大学研究協力課)
紀伊續風土記 第4, 5輯	展示	特別展「祝・国宝指定 松江城天守再発見」(松江歴史館 2015/09/19-11/18)
謙斎夢物語 (大森文庫)	掲載	「渡独前の青木周蔵の修学歴 (仮題)」(掲載誌未定/広島修道大学)
校友会雑誌 20号	掲載	大橋鎮子と花森安治 ふたりが編んだ『美しい暮らし』(仮題) (ミオブックス出版)
山陰中帰連関連資料	展示	戦後70年戦争の記憶-次世代に語り継ぐ- (米子市立山陰歴史館 2015/07/13-08/31)
	放映	情報番組「熱血テレビ」(山口放送 2015/08/14)
寺本家文書	掲載	松江市史 史料編8 (松江市史編集委員会)
出雲国絵図: 天保年間 (桑原文庫)	放映	お坊さんバラエティーぶっちゃけ寺 (テレビ朝日 2016/03/07)
出雲国風土記	掲載	島根大学お宝研究 Vol.10 (島根大学研究協力課)
出雲風土記抄	掲載	週刊江戸三百藩 (ハーレクイン社)
	掲載	島根大学お宝研究 Vol.10 (島根大学研究協力課)
出雲名勝摘要	掲載	明治の松江と漢詩-明治初期の出雲漢詩壇 (今井印刷)
小町歌あらそひ (桑原文庫)	掲載	「江戸版御伽草子の本文」和漢語文研究 13 (京都府立大学国文学会)
松江末次本町絵図	掲載	白湯公民館歴史講座 (白湯公民館歴史講座)
松平期松江城下町絵図	掲載	松江城下町遺跡 (奥谷町322) 発掘調査報告書 (松江市スポーツ振興財団)
長崎病院列世布篇 全 (大森文庫)	掲載	「渡独前の青木周蔵の修学歴 (仮題)」(掲載誌未定/広島修道大学)
定秀家文書	掲載	松江市史 史料編8 (松江市史編集委員会)
島根縣内農具図解	掲載	明治農具絵図・関連文書群の全国調査 (神奈川大学日本常民文化研究所)
南遊雜記 一, 二 (大森文庫)	掲載	学会発表における提示資料
病理内科各論 6冊 (大森文庫)	掲載	「渡独前の青木周蔵の修学歴 (仮題)」(掲載誌未定/広島修道大学)
文化年間出雲国絵図	掲載	企画展「古代出雲文化発祥の地-意宇の開発史-」図録 (島根県立八雲立つ風土記の丘 2015/09/19-11/15)
堀尾期松江城下町絵図	掲載	松江城下町遺跡現地説明会資料 (松江市スポーツ振興財団 2015/05/30)
	掲載	週刊ポスト 松江特集 (小学館)
	掲載	国宝・松江城-美しき天守- (山陰中央新報社)
	掲載	松江市史 通史編2 (松江市史編集委員会)
	掲載	松江城下町遺跡 (奥谷町322) 発掘調査報告書 (松江市スポーツ振興財団)
	掲載	松江城天守国宝指定記念シンポジウム「松江城再発見~天守・城・城下町」プログラム (松江城歴史的価値発信事業実行委員会)
	掲載	しまねの道徳 中学校 (島根県教育委員会)
	掲載	プレゼン資料 (松江市観光振興公社)
	掲載	親子で学ぶ国宝松江城 (クリアプラス)
	放映	しまねっとニュース610 (NHK松江放送局 2015/05/27)
	放映	プラタモリ (NHK総合 2015/08/22)
	放映	日本の城見聞録 (BS朝日 2015/10/08)
	放映	ワイド!スクランブル (テレビ朝日 2015/10/27)
	林家文書	掲載
和漢三彩図絵	放映	所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ! (テレビ東京 2015/06/05)
	放映	Nスタ (ニュース番組) (TBSテレビ 2015/06/22)
和泉式部物語 (桑原文庫)	掲載	岡田真憲『泉式部日記とは何か』(勉誠出版)

## 報道

事 項	掲 載 紙
全国遺跡報告総覧の公開	山陰中央新報 (2015/06/25), 四国新聞 (2015/06/25), 富山新聞 (2015/06/25), 京都新聞 (2015/06/25), 神戸新聞 (2015/06/25), 千葉新聞 (2015/06/25), 上毛新聞 (2015/06/25), 静岡新聞 (2015/06/25)
「戦争と平和を考える」展の開催	毎日新聞 (2015/09/16), 山陰中央新報 (2015/09/18), 朝日新聞 (2015/09/24), 読売新聞 (2015/10/20), 中国新聞 (2015/10/28)
蔵書リユース市の開催	山陰ケーブルビジョン (2015/10/27), NHK (2015/10/29), 朝日新聞デジタル (2015/11/02), 日本経済新聞 (2016/01/25)
河本家所有古典籍のデジタル化と公開	山陰中央 (2015/12/03)
全国遺跡報告総覧シンポジウムの開催	読売新聞 (2016/02/21), 朝日新聞 (2016/03/04), 文教ニュース (2016/03/14)

## 人事異動

### 【2015（平成27）年 3月31日発令】

氏 名	異 動 後	異 動 前
金 子 尚 登	退職 (鳥取大学学術情報部図書館情報課へ)	学術国際部図書情報課係長 (学術情報SL)

### 【2015（平成27）年 4月 1日発令】

氏 名	異 動 後	異 動 前
足 立 美 和	採用 学術国際部図書情報課係長 (学術情報SL)	鳥取大学学術情報部図書館情報課
佐 藤 陽 子	採用 学術国際部図書情報課係員 (医学情報G)	
阿 式 千 鶴	採用 学術国際部図書情報課事務補佐員 (医学情報G)	
米 田 政 子	再雇用更新 学術国際部図書情報課再雇用職員 (医学情報G)	学術国際部図書情報課再雇用職員 (医学情報G)

### 【2015（平成27）年 4月20日発令】

氏 名	異 動 後	異 動 前
青 山 佳 織	採用 学術国際部図書情報課事務補佐員 (情報サービスG)	

## 研修

氏 名	名 称	期 間
青 柳 和 仁	第11回学術情報ソリューションセミナー2015 in OSAKA	2015年 6月30日
佐 藤 陽 子	第22回医学図書館職員基礎研修会	2015年 8月 5日～ 8月 7日
青 柳 和 仁	目録システム地域講習会 (図書)	2015年 9月 7日～ 9月10日
錦 織 亜希子	平成27年度図書館等職員著作権実務講習会	2015年 9月 9日～ 9月11日
青 柳 和 仁 三 村 のぞみ	第6回中国・四国地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー	2015年 9月10日～ 9月11日
福 山 栄 作 三 村 のぞみ	第56回中国四国地区大学図書館研究集会	2015年10月 8日～10月 9日
錦 織 亜希子	学術情報リテラシー教育担当者研修	2015年11月18日～11月20日
福 山 栄 作	平成27年度中国・四国地区国立大学法人等係長研修	2015年11月25日～11月27日
福 山 栄 作	国立大学図書館協会中国四国地区協会ワークショップ	2016年 3月 2日

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2015

島根大学附属図書館年報2015

2016(平成28)年8月発行  
発行:島根大学附属図書館

《本館》〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6083 FAX.0852-32-6089  
《医学図書館》〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 TEL.0853-20-2094 FAX.0853-20-2095